平成27年版

消防概要

名取市消防本部

はじめに

この概要は、平成２６年度中における名取市の主な消防事象を統計的に収録したものであります。これを通して、本市消防行政の一端をご理解いただきますとともに、防火防災の一助にご活用賜れば幸いと存じます。

なお、火災・救急等の災害統計は暦年により、その他の関係事業・事項については会計年度をもって表していますが、表中年月日等を明示したものは、その時点での現況を表しています。

平成２７年８月

名取市消防本部

目　　次

はじめに
Ⅰ　市勢概要
1.名取市消防本部の統計概要 …… 1
2.名取市の概要 …… 2
3.名取市の位置・管内図 …… 3
4.名取市の世帯数・人口・市域面積の変遷 …… 4
Ⅱ　総　　務
5.名取市消防本部の沿革 …… 5
6.消防本部・消防署の機構 …… 11
7.消防庁舎概要 …… 11
8.歴代消防長・次長・署長 …… 12
9.消防費予算額・決算額の状況 …… 13
10.消防職員数及び配置状況 …… 14
11.消防職員技術資格取得状況 …… 14
12.階級別年齢別職員数 …… 15
13.階級別勤続年数別職員数 …… 16
Ⅲ　消　防　団
14.名取市消防団の沿革 …… 17
15.平成２６年度消防団主要行事 …… 20
16.消防団の機構及び人員 …… 21
17.歴代消防団長・副団長 …… 22
18.階級別年齢別団員数 …… 23
19.階級別勤続年数別団員数 …… 24
20.消防団員数及び配置状況 …… 25
21.職業別団員数 …… 25
22.分団別消防機械器具配置状況 …… 26
23.分団別消防用ホース配置状況 …… 26
24.消防団施設一覧 …… 27
25.消防団車両配置状況 …… 28
26.消防団員出動状況 …… 29
27.消防団員火災出動状況 …… 29
Ⅳ　予　　防
28.防火対象物及び立入検査実施状況 …… 30
29.建築確認申請状況 …… 31
30.防火管理者選任及び消防計画届出状況 …… 32
31.中高層防火対象物調 …… 33
32.用途別消防用設備等の設置状況 …… 34
33.危険物施設数及び立入検査実施状況 …… 35
34.危険物施設の許認可・検査・承認・届出状況 …… 35
35.火薬類貯蔵施設及び保安検査・立入検査実施状況 …… 36
36.火薬類許可・届出処理件数 …… 36
37.予防関係諸届出状況 …… 36
Ⅴ　警　　防
38.消防力・消防水利の基準と現有消防力の比較 …… 37
39.消防吏員出動状況 …… 37
40.消防本部・署車両配置状況 …… 38
41.消防資器材保有状況 …… 39
42.消防水利地区別配置状況 …… 40
43.消火栓管径別状況 …… 40
44.消防相互応援協定等締結状況 …… 41
Ⅵ　通信・指令
45.通信指令系統図（有線） …… 44
46.通信指令系統図（無線） …… 45
47.通信指令施設一覧 …… 46

48.消防救急無線局一覧 ····· 47
49.災害通報入電状況 ····· 49
50.病院情報提供状況 ····· 49
51.気象観測状況 ····· 50

Ⅶ 火　　災

52.平成２６年の火災の実態 ····· 51
53.平成２６年火災統計総括表 ····· 52
54.火災の概況 ····· 54
55.出火原因別火災件数・損害額 ····· 55
56.地区別火災発生状況と損害額 ····· 56
57.火災覚知別件数 ····· 56
58.曜日別出火件数 ····· 57
59.時間別出火件数 ····· 57
60.初期消火器具等使用状況 ····· 58
61.建物用途別出火状況 ····· 58
62.住宅火災の出火箇所 ····· 58
63.１日あたりの火災発生状況 ····· 59
64.消防署火災出動状況 ····· 59
65.過去の火災発生件数及び損害額 ····· 60
66.名取市の主な火災 ····· 62

Ⅷ 救急・救助

67.平成２６年の救急概要 ····· 64
68.救急統計総括表 ····· 65
69.救急月別・事故別出場件数及び搬送人員 ····· 67
70.地区別救急出場件数 ····· 69
71.事故別救急出場件数及び搬送人員 ····· 69
72.事故別傷病程度状況（医療機関搬送分のみ） ····· 70
73.事故別・曜日別救急出場件数 ····· 70
74.事故別・年齢別救急搬送人員状況 ····· 71
75.時間別救急出場件数 ····· 72
76.市町村別傷病者搬送先状況 ····· 72
77.発生場所別搬送人員 ····· 72
78.不搬送別状況 ····· 73
79.病院収容所要時間別搬送人員 ····· 73
80.救急隊員の行った応急処置（特定行為等） ····· 74
81.救急隊別出場件数 ····· 75
82.救急業務発足以来の救急出場推移 ····· 75
83.応急手当普及啓発活動状況 ····· 75
84.月別救助出動状況及び救助人員 ····· 76
85.救助完了時間別状況 ····· 77
86.救助業務過去１０年間の救助出動推移 ····· 77

Ⅸ 消防協力団体

87.消防協力団体の概要 ····· 78
88.名取市防火協力会連合会 ····· 79
89.外郭団体 ····· 79
90.名取市婦人防火クラブ連絡協議会 ····· 80
91.幼年消防クラブ ····· 80

Ⅰ　市勢概要

名　取　市　章

（昭和 34 年 10 月 1 日制定）

名取の名を図案化し、新名取市の融和と発展を表徴したものである。

名取市マスコットキャラクター　「カーナくん」

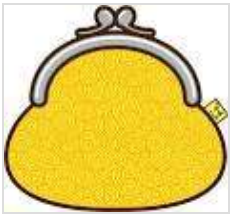
（平成 20 年 6 月）

東北有数の生産量を誇る「カーネーション」、名取市の頭文字「N」を衣装に組み入れ
カーネーションのカーと名取市のナで「カーナくん」と名付けられたものである。

１．名取市消防本部の統計概要

（基準日：平成２７年４月１日　ただし、火災等の災害統計は平成２６年中）

市　内　面　積	人　口　・　世　帯　数	署　　所　　数	職　　員　　数
９８．１７　㎢	人　口　76,312 人 世帯数　28,671世帯	消防本部　１ 消 防 署　１ 出 張 所　３	定数　１０１　人 現有　９４　人

消　防　団　員　数	消　　防　　予　　算	消　　防　　車	救　　急　　車　　等
			
定数　４８０　人 現有　３９８　人	1,063,681 千円	タンク車　４　台 ポンプ車　２　台 化 学 車　１　台	救 急 車　３ 台 救助工作車　１ 台 水 槽 車　１ 台

火　　災　　件　　数	救　　急　　件　　数	救　　助　　件　　数	１１９　番　通　報　件　数
２６　件	２，８７７　件	３０　件	４，３４８　件

消　　防　　水　　利	防　火　対　象　物　数	危　険　物　施　設　数	消　防　協　力　団　体
消 火 栓　１，２９６基 防火水槽　　１８０基 そ の 他　　２６基	１，８６７　件	２８４　件	名取市防火協力会 連合会他　３団体

２．名取市の概要

本市は、宮城県のほぼ中央に位置し、北側を仙台市、南側を岩沼市、西側を村田町と隣接し、東側に太平洋を臨む。

市域面積は９８．１７㎢で、東西約１３㎞、南北約８㎞と東西に細長く、地形的な特徴から丘陵部、平野部、海浜部に大きく区分される。

丘陵部は、一部、県自然環境保全地域、緑地環境保全地域に指定されていることから自然環境に恵まれ、北部と南部に潤いのある新市街地が形成されてきている。

平野部は、南北に幹線道路となる国道４号線、ＪＲ東北本線に沿って中心市街地が形成され、中心市街地を囲むように優良な農地が広がっている。

海浜部は、貞山運河・閖上海岸等の水辺に親しめる空間とともに、閖上漁港や、年間約２５０万人が利用する東北の空の玄関口である仙台空港を有する。

また、丘陵部側に東北縦貫自動車道、仙台南部道路が貫通し、その仙台南ＩＣ、山田ＩＣが接近し、平野部には仙台東部道路名取ＩＣ、仙台空港ＩＣが整備されるほか、国道４号線・ＪＲ東北本線・東北新幹線が市域を縦断している。またＪＲ名取駅から仙台空港を軌道で結ぶ仙台空港アクセス鉄道が平成１９年３月に開業し、今後更なる広域交通網の発展が期待される。

全域が仙塩都市計画区域内にあり、市街化区域は、中心部である増田、名取が丘地区等の一帯と閖上地区、新市街地の形成による丘陵部の相互台、那智が丘、ゆりが丘、みどり台、愛島台、愛島東部地区が指定され、更に東北一の規模を誇るショッピングモールも出店し、杜せきのした、美田園地区の開発も進み、名取の新しい都市づくりが着々と進められている。

本市の消防は、１本部１消防署３出張所の常備体制と１消防団６分団の非常備体制で、車の両輪として市民の安全・安心を守っているが、急速な社会情勢変化の中で施設・機械器具・組織体制等、更なる消防力の充実強化が求められている。

そのような最中、平成２３年３月１１日、１４時４６分に発生したマグニチュード９．０の東北地方太平洋沖地震、それに伴う大津波の襲来により名取市は未曾有の被害を受ける。この東日本大震災の影響により本市の消防施設・設備にも大きな被害を受け消防体制は見直しを迫られることとなる。市では、各方面からの温かい支援を受けながら復興へ向けて誠意努力中である。

３．名取市の位置・管内図

管内図（消防機関等配置図）

４．名取市の世帯数・人口・市域面積の変遷

年　次	世帯数	人　　口			市域面積 (km^2)	摘　要
		男	女	計		
昭和３０年	5,228	16,133	16,833	32,966	100.60	10.1 国勢調査人口
４０年	6,563	16,604	17,601	34,205	100.70	〃
５０年	11,224	22,959	23,773	46,732	100.75	〃
６０年	13,123	25,220	25,675	50,895	100.64	〃
平成　２年	14,799	26,422	27,313	53,735	100.64	〃
７年	18,294	30,589	31,404	61,993	100.07	〃
１２年	21,039	33,041	34,175	67,216	100.06	〃
１７年	22,583	33,750	34,912	68,662	100.06	〃
２２年	25,124	35,578	37,556	73,134	100.07	〃
２７年	28,671	37,494	38,818	76,312	98.17	4.1 現在

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

消防職員一人当たり	人　　口	世　帯　数	面　　積
	811.8 人	305.0 世帯	1.04 km^2

※平成２７年４月１日の統計を職員数９４名で除しています。

Ⅱ　総　務

5. 名取市消防本部の沿革

年　月	内　　容	備　　考
34. 11	○消防ポンプ自動車1台、職員3名で消防団常備部開設	閖上地区に分遣所開設
12	○職員5名採用（増員）	
35. 7	○職員2名採用（増員）	
38. 1	○職員1名採用（補充）	
39. 12	○職員2名採用（増員）	
40. 11	○国道4号線仙台バイパス沿いに消防庁舎完成	旧庁舎
	○消防ポンプ自動車1台増車	
12	○職員2名採用（増員）	
41. 4	○消防団常備部を廃止し、政令指定を待たず、市独自で消防本部及び消防署設置（消防本部は市役所に置く）	
	○職員1名採用（増員）	
42. 12	○消防署に無線局開局	基地局1、移動局1
43. 11	○救急自動車配置、救急業務開始	生保協会より寄贈
	○職員2名採用（増員）	
44. 4	○消防庁告示、消防本部・消防署設置について政令指定を受ける	
10	○職員2名採用（増員）	
	○消防本部を消防庁舎に移転	
46. 3	○消防ポンプ自動車増車	
4	○職員2名採用（増員）	
47. 4	○職員5名採用（増員）	
11	○化学消防ポンプ自動車配置	
	○指令車配置	
48. 3	○仙台空港事務所、岩沼市、名取市で「仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」締結	
4	○仙台市外7市長等及び塩釜地区消防事務組合管理者と相互応援協定締結	
	○職員3名採用（増員）	
12	○ナロー化による救急無線設置	
49. 1	○パトロール車配置	
2	○消防ポンプ自動車増車	
3	○閖上分遣所庁舎完成	
4	○職員5名採用（増員4名、補充1名）	
12	○閖上分遣所を閖上出張所に改組	
50. 4	○手倉田出張所開設	
	○職員6名採用（増員）	
12	○水槽付消防ポンプ自動車配置	
51. 7	○広報車配置	日本消防協会より寄贈
53. 4	○職員3名採用（増員）（45名）	
55. 2	○救急自動車増車	生保協会より寄贈
55. 4	○職員2名採用（増員）（47名）	

年　月	内　　容	備　　考
56. 4	○職員２名採用（増員）（49 名）	
57. 4	○職員３名採用（増員）（52 名）	
5	○仙台市ガス事業管理者、名取市農業協同組合、名取市消防本部で「ガス災害対策に関する事業協定」締結	
12	○救助工作車配置	
58. 4	○職員４名採用（増員３名、補充１名）（55 名）	
59. 2	○救助訓練塔本塔完成	
4	○職員２名採用（増員）（57 名）	
60. 4	○職員２名採用（増員）（59 名）	
9	○消防庁舎改築に着工	
11	○広報車増車（防火号）	防火協会より寄贈
61. 6	○消防庁舎竣工（訓練塔副塔を含む）	
	○資機材運搬車配置（トラック）	宮城日産より寄贈
8	○消防救急指令装置（Ⅰ型）設置（気象観測装置を含む）	
62. 4	○職員２名採用（補充）	
7	○省令に基づく救助資機材整備	救助隊設置法制化
11	○県内３市、４広域消防本部で「東北自動車道宮城県消防相互応援協定」締結	
12	○消防団緊急伝達システム設置	本部、増田、閖上分団
63. 4	○特別救助隊設置（省令第４条）	
10	○水槽付消防ポンプ自動車増車（Ⅱ型）	
11	○仙台市、仙南地域広域行政事務組合消防本部、名取市で「山形自動車道消防応援協定」締結（宮城県立合）	
	○救急無線に県波増設	
元. 3	○消防団緊急伝達システム子局増設	愛島、高舘分団
4	○職員３名採用（増員２名、補充１名）（61 名）	
9	○宮城県医療情報センターと「救急医療情報検索用端末装置の設置に関する協定」締結	
2. 2	○救急自動車更新（2Ｂ型）	宮城県共済農業協同組合より寄贈
3	○消防団緊急伝達システム子局増設	下増田、館腰分団
	○査察車増車（軽自動車）	
	○職員定数条例改正（71 名）	
4	○職員２名採用（増員）（63 名）	
12	○水槽車Ⅱ型（５ｔ）配置	
3. 4	○職員２名採用（補充）	
12	○化学消防ポンプ自動車更新（Ⅱ型）	
4. 2	○応急処置範囲拡大のため教育始まる	
4	○職員４名採用（増員）（実員 67 名）	
	○宮城県消防学校へ教官として職員１名派遣	
	○宮城県内全消防本部で広域消防相互応援協定、広域航空消防応援協定締結	

年　月	内　　容	備　　考
5. 2	○救急自動車更新（2B型）	宮城県共済農業協同組合より寄贈
4	○職員3名採用（増員2名、補充1名）（69名）	
11	○機構改革による課制導入（総務警防課・予防課）	
	○26人乗りマイクロバス増車	㈱宇佐美より寄贈
12	○職員定数条例改正（75名）	
6. 3	○消防地図検索装置設置	
	○「仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定」締結	
4	○職員4名採用（増員3名、補充1名）（72名）	
9	○水槽付消防ポンプ自動車増車（Ⅰ－B型）名称「火災保険号名取」	損保協会より寄贈
	○名取市、岩沼市、仙台市、仙台空港事務所で「仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」締結	
7. 2	○水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型）	
	○手倉田出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置	
3	○閖上7丁目に閖上出張所新庁舎完成（移転）	
	○消防団緊急伝達システム子局増設	閖上出張所新庁舎
	○宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1名派遣	
4	○閖上出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置	
	○職員3名採用（増員2名、補充1名）（74名）	
9	○緊急消防援助隊登録（消火隊）	
10	○救助工作車・救助資機材更新	
8. 2	○防災車・カーゴトレーラー増車	
	○消防庁舎に展示室開設	
	○消防波に全国波増波	
	○職員定数条例改正（78名）	
4	○職員4名採用（増員2名、補充2名）（76名）	
	○初の救急救命士誕生	
9. 2	○名取市消防本部発足30周年記念式典開催	
	○職員定数条例改正（83名）	
3	○消防ポンプ自動車更新（CD－Ⅰ型）	
	○連絡車増車（ジムニー）	オイルプラントナトリより寄贈
	○飲料水兼用耐震性貯水槽完成（100ｔ）	
4	○職員7名採用（増員5名、補充2名）（81名）	
9	○資機材搬送車更新	
10	○水槽付消防ポンプ自動車増車（Ⅰ－A型）（高舘出張所用）	
10. 1	○救急自動車更新（2B型）	宮城県共済農業共同組合連合会より寄贈
2	○職員定数条例改正（88名）	
4	○高舘出張所開設・消防団緊急伝達システム子局増設	
	○職員4名採用（増員2名、補充2名）（85名）	
	○宮城県消防学校へ教官として職員1名派遣	

年　月	内　　容	備　　考
11. 2	○職員定数条例改正（90名）	
	○高規格救急自動車配置、高度救命資器材整備	(財)空港環境整備協会より助成
4	○職員4名採用（増員3名、次年度分補充1名）（87名）	
12	○エアテント整備	
12. 4	○防火衣上下型導入開始	
	○高舘出張所救急自動車配置	
	○職員4名採用（増員1名、補充2名、次年度分補充1名）（88名）	
9	○名取市救急業務運営委員会設置	
13. 1	○高舘出張所救急車更新（2B型）	
3	○職員定数条例改正（95名）	
	○宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1名派遣	
4	○職員3名採用（増員1名、補充2名）（89名）	
5	○消防本部緊急通信指令装置等検討委員会設置	
14. 4	○職員3名採用（増員3名）（92名）	
8	○消火・通報訓練指導車増車	日本宝くじ協会より寄贈
11	○機構改革	
	○市総務部総務課防災係へ職員1名出向	
15. 3	○消防本部通信指令棟竣工	
	○消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）設置	(財)空港環境整備協会より助成
4	○消防本部通信指令室運用開始	
	○名取市消防本部ホームページ運用開始	
	○宮城県消防学校へ教官として職員1名派遣	
16. 4	○職員2名採用（増員1名、補充1名）（93名）	
11	○煙体験用資機材（煙体験ハウス・煙発生装置）整備	
17. 4	○職員2名採用（増員1名、補充1名）（94名）	
18. 3	○宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1名派遣	
4	○総務警防課から総務課、警防課となる	
	○市総務部防災安全課防災係へ職員1名出向	
20. 2	○高規格救急自動車配置、高度救命資器材整備	(財)空港環境整備協会より助成
3	○防火号更新	オイルプラントナトリより寄贈
4	○職員2名採用（増員2名）（95名）	
	○市総務部防災安全課防災係へ職員1名出向	
21. 1	○水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型）	(財)空港環境整備協会より助成
4	○宮城県消防学校へ教官として職員1名派遣	
11	○高規格救急自動車配置、高度救命資器材整備	
22. 4	○職員2名採用（補充2名）（94名）	
	○市総務部防災安全課防災係へ職員1名出向	

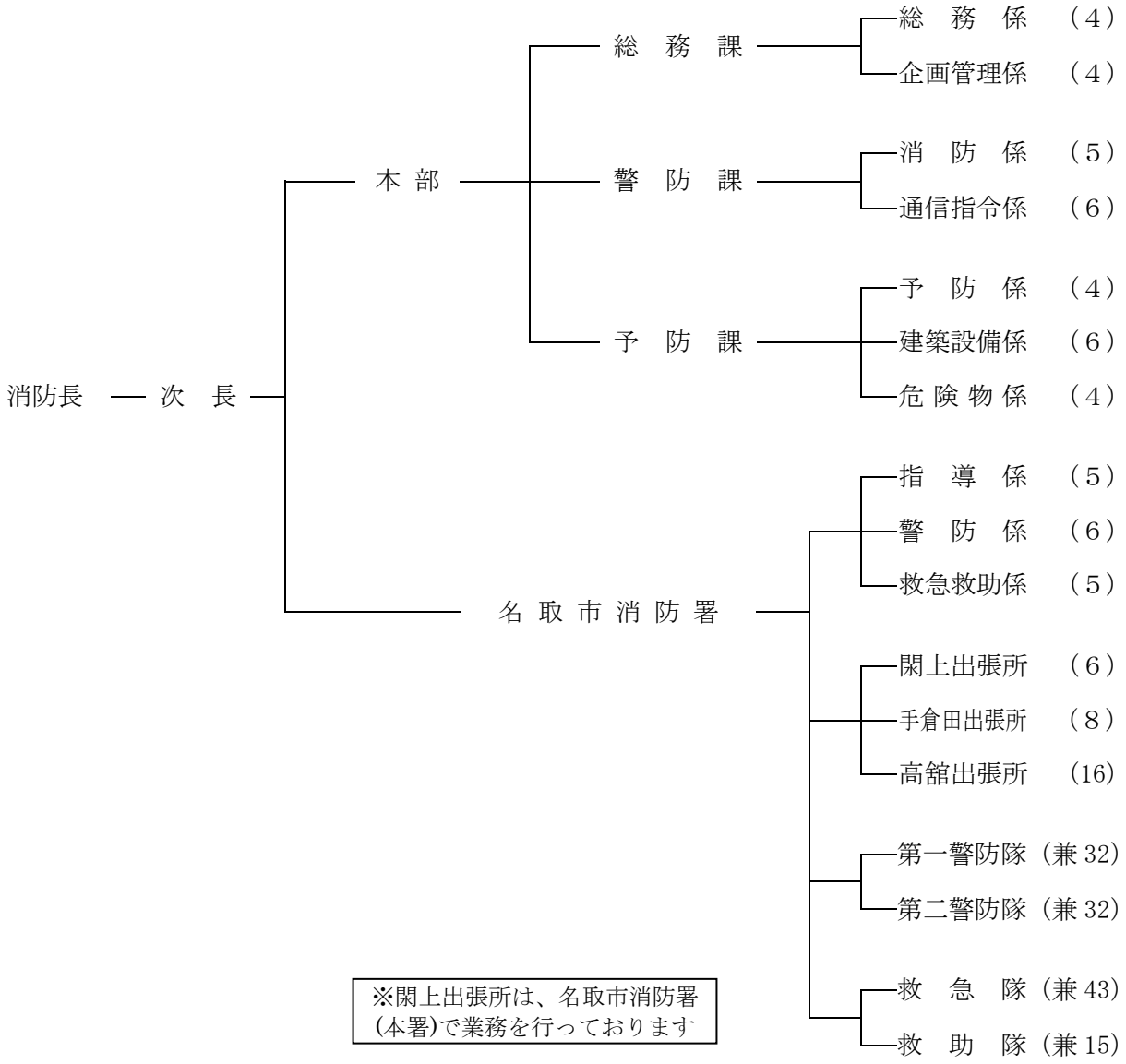
年　月	内　　容	備　　考
23. 3	○3 月 11 日、14 時 46 分三陸沖を震源とするM9.0 の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度 6 強を観測 15 時 52 分大津波の襲来により沿岸部は壊滅的な被害を受ける 職員殉職者 3 名 閖上出張所全壊、救助訓練塔本塔傾斜 水槽付消防ポンプ自動車 1 台流失、マイクロバス大破 活動期間 3 月 11 日から 5 月 16 日、職員延べ人員 3,061 人 震災対応は、火災 12 件、救急 178 件、救助 93 件 救助人員 457 人、遺体収容 331 体 ○東日本大震災における受援状況 宮城県広域消防相互応援協定に基づき、仙南地域広域行政事務組合消防本部から受援（延べ日数 23 日、延べ人員 104 人） 3 月 11 日、消防庁長官の指示により緊急消防援助隊が派遣され、富山県隊、広島県隊、長野県隊から受援（延べ日数 32 日、延べ人員 5,708 人）	
23. 4	○職員 2 名採用（補充 2 名）（93 名）	
23. 7	○消防職団員殉職者合同慰霊祭を執り行う ○3.11 東日本大震災検討委員会設置 ○水槽付消防ポンプ自動車更新（Ｉ－Ａ型）（被災車両の更新）	愛知県名古屋市消防局より寄贈
23. 11	○消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備委員会設置 ○連絡車増車（ステージア） ○25 人乗りマイクロバス更新（被災車両の更新）	㈱ネッツトヨタ仙台名取店より寄贈 鹿児島県妙見温泉振興会より寄贈
23. 12	○消防ポンプ自動車更新（ＣＤ－Ｉ型） ○高規格救急自動車更新	神奈川県海老名市消防本部より寄贈 兵庫県伊丹市消防局より寄贈
24. 2	○査察車更新（軽自動車）	東京都下水道局より寄贈
24. 4	○職員 3 名採用（補充 3 名）（94 名） ○市総務部防災安全課防災係へ職員 1 名出向 ○東日本大震災消防活動記録保存業務開始	
25. 1	○高規格救急自動車更新	（一財）空港環境整備協会より助成
25. 3	○消防指令センター（Ⅱ型）設置及び消防救急デジタル無線整備 ○消防訓練塔（本塔・副塔）竣工 ○高規格救急自動車更新 ○人員搬送車増車	ＪＡ名取岩沼・ＪＡ共済連宮城より寄贈 サントリーホールディングス㈱より寄贈

年　月	内　　容	備　　考
25. 3	○査察車増車（軽自動車）	名取つばさライオンズクラブより寄贈
	○東日本大震災消防活動記録誌発行	
	○宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1名派遣	
25. 4	○職員3名採用（補充3名）（92名）	
26. 2	○化学消防ポンプ自動車更新（Ⅱ型）	（一財）空港環境整備協会より助成
26. 4	○職員4名採用（補充4名）（95名）	
	○市総務部防災安全課防災係へ職員1名出向	
26. 11	○水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型）（高舘出張所用）	
	○名取電気工事災害協力会と「災害発生における消防活動に関する応援協定書」締結	
27. 2	○救助工作車更新（Ⅱ型）	（一財）空港環境整備協会より助成
27. 4	○職員条例定数改正（101名）	
	○職員4名採用（補充4名）（94名）	

6. 消防本部・消防署の機構

（平成２７年４月１日現在）

（ ）内は職員数、「兼」は兼務職員数



7. 消防庁舎概要

	所　在　地	敷地面積	延床面積	構　造	竣工年月日
消防本部 消防署	名取市増田五丁目 １８番３２号	㎡ 4,825.18	㎡ 1,661.25	鉄筋コンクリート 一部鉄骨２階建	S61. 6.10 (東棟 S48.3)
消防本部 通信指令棟	〃	本部敷地内	㎡ 180.55	鉄筋コンクリート 平屋建	H15. 3.14
訓練塔	〃	〃	㎡ 本塔230.30 副塔144.07	鉄骨造　本塔５階建、副塔３階建	H25. 3.29
閖上 出張所	（津波により被災解体予定）	㎡ 784.24	㎡ 327.60	鉄筋コンクリート ２階建	H 7. 3.15
手倉田 出張所	名取市手倉田字諏訪 ５５９番地の２	㎡ 541.48	㎡ 129.60	鉄骨造トタン葺 ２階建	S50. 3.25
高舘 出張所	名取市高舘熊野堂字五反田山 １１番地の１５０	㎡ 1,825.55	㎡ 529.81	鉄筋コンクリート ２階建	H10. 2.26

8. 歴代消防長・次長・署長

年　月　日	消防長	次長	署長
昭和 41. 4. 1	七戸　卓 (助役兼務)	(欠員)	(欠員)
41. 9. 1			消防司令長 宮崎英憲
45. 10. 1	消防司令長 宮崎英憲	消防司令長 加藤正雄	宮崎英憲 (消防長兼務)
45. 11. 5			
46. 4. 1			
48. 1. 1	石川次夫 (助役兼務)	(欠員)	消防司令 桑島源太郎
49. 4. 1	消防監 伊藤襲次郎		伊藤襲次郎 (消防長兼務)
51. 5. 1			
52. 1. 1	消防監 洞口正人	消防司令長 太田繁雄	洞口正人 (消防長兼務)
52. 10. 1		(欠員)	
53. 4. 1		消防司令長 桑島源太郎	桑島源太郎 (次長兼務)
54. 4. 1		(欠員)	洞口正人 (消防長兼務)
55. 11. 1	消防監 百足英夫		消防司令長 伊東伝治
58. 4. 1			
61. 4. 1		消防司令長 斎藤秀雄	消防司令長 庄司利雄
62. 4. 1	消防監 今野紀夫	消防司令長 庄司利雄	消防司令長 井上　昭
平成 3. 4. 1			
5. 4. 1		消防司令長 五十嵐　敏	五十嵐　敏 (次長兼務)
7. 4. 1	消防監 今野雅夫		
9. 4. 1	消防監 五十嵐　敏	(欠員)	消防司令長 加藤茂男
11. 4. 1	消防監 加藤茂男	消防司令長 山田惣一	消防司令長 齋藤昇吉
12. 4. 1	消防監 齋藤昇吉	消防司令長 阿部徳男	消防司令長 髙橋　清
13. 4. 1	消防監 阿部徳男	(欠員)	
15. 4. 1	消防監 大宮　健	消防司令長 髙橋　清	消防司令長 太田文行
16. 4. 1			消防司令長 針生俊二
17. 4. 1	消防監 髙橋　清	(欠員)	消防司令長 今野新一
18. 4. 1		消防司令長 針生俊二	
21. 4. 1	消防監 針生俊二	消防司令長 太田文行	
22. 4. 1	消防監 太田文行	消防司令長 今野新一	消防司令長 大内正勝
23. 7. 1	消防監 今野三幸		
25. 4. 1	消防監 今野新一	消防司令長 大内正勝	大内正勝 (次長兼務)
27. 4. 1	消防監 板橋勝典	消防司令長 板橋武也	板橋武也 (次長兼務)
現在	消防監 太田　昇	消防司令長 大友敏春	消防司令長 丹野孝行

9. 消防費予算額・決算額の状況

区分		２７年度当初予算額（千円）	２６年度当初予算額（千円）	対前年比	
				金額（千円）	割合（%）
一般会計総額		36,800,000	30,242,000	6,558,000	121.7
消防費		1,063,681	1,053,824	9,857	100.9
構成比		2.9%	3.5%	―	―
内訳	常備消防費	847,289	807,052	40,237	105.0
	非常備消防費	65,344	56,670	8,674	115.3
	消防施設費	52,118	161,969	△ 109,851	32.2
	防災費	97,773	22,840	74,933	428.1
	水防費	1,157	5,293	△ 4,136	21.9

※　歳出決算額（２６年度は見込額）

（単位：千円）

年度	決算額	内訳					災害復旧費決算額(消防本部所管分)
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	防災費	水防費	
１６	827,612	733,003	56,553	32,690	4,395	971	
１７	850,106	753,427	55,194	36,157	4,366	962	
１８	860,421	764,872	54,215	32,132	8,194	1,008	
１９	918,559	783,858	55,393	63,596	14,551	1,161	
２０	1,012,735	806,214	62,576	75,900	67,190	855	
２１	1,002,622	816,050	57,902	74,279	53,401	990	
２２	936,144	821,997	58,831	41,643	12,628	1,045	
２３	1,517,358	917,820	542,394	49,797	6,541	806	37,647
２４	983,353	817,766	65,944	86,750	12,073	820	927,846
２５	1,060,207	794,451	52,092	108,106	104,740	818	1,665
２６	1,192,510	841,399	50,743	233,727	65,215	1,426	29,494

10. 消防職員数及び配置状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

区分		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	備考
消防本部	消防長	1	1								
	総務課	13		1	2	4			4	2	
	警防課	13		1	3	6	3				
	予防課	16		1	5	4	3	1	2		
消防署	本署	20		1	6	6	3		4		
	閖上出張所	6			1	3			2		
	手倉田出張所	8			1	3	1	1	2		
	高舘出張所	16			1	11	1	1	2		
出向		1					1				県防災ヘリ
小計		94	1	4	19	37	12	3	16	2	定員 101 名
再任用職員		2								2	
合計		96									

11. 消防職員技術資格取得状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

資格名	保有職員数	資格名	保有職員数
自動車運転免許（大型）	６５	毒物劇物取扱責任者	５
自動車運転免許（中型）	３	小型移動式クレーン運転技能者	２５
自動車運転免許（中型限定）	１０	玉掛技能者	２５
自動車運転免許（普通）	１６	ガス溶接技士	９
小型船舶操縦士	１８	特定化学物質作業主任者	３
特殊無線技士	６６	予防技術検定資格者	４
危険物取扱者免状（甲種）	２	アマチュア無線技士	１
危険物取扱者免状（乙種）	５９	自動車整備士	１
危険物取扱者免状（丙種）	１６	防災士	２
消防設備士免状	１３	火薬類取扱保安責任者	１
消防設備点検資格者	１	電気工事士	１
衛生管理者	２	被災建築物応急危険度判定士	１
救急救命士	１５	潜水士	１

12. 階級別年齢別職員数

（平成27年4月1日現在　単位:人）

区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	備考
合計	94	1	4	19	37	12	3	16	2	定員101名
満18歳										
19	2							2		
20	4							4		
21	2							2		
22	3							3		
23	1							1		
24	1							1		
25	3							3		
26										
27										
28										
29	2						2			
30	1						1			
31	2					2				
32										
33	6					6				
34	2					1			1	
35	1					1				
36	6				5	1				
37	4				4					
38	6				5	1				
39										
40	5				4				1	
41	4				4					
42	5				5					
43	3				3					
44	2				2					
45	1				1					
46	1				1					
47										
48	2				2					
49	3			2	1					
50	4			4						
51	2			2						
52	2			2						
53	3			3						
54										
55	2			2						
56										
57	2			2						
58	4		4							
59	3	1		2						
60										
61										
62										
平均年齢	39.5	59.0	58.0	52.9	40.7	33.6	29.3	21.8	37.0	

※　再任用職員は含まない。

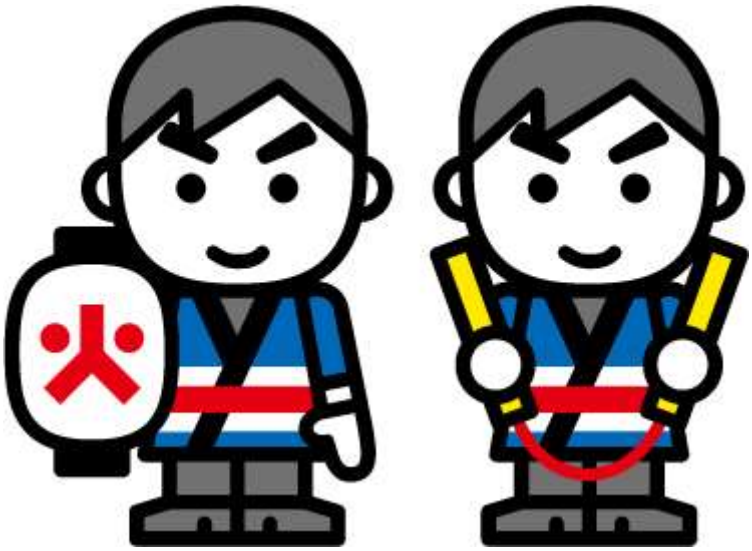
13. 階級別勤続年数別職員数

（平成27年4月1日現在　単位：人）

区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	備考
合計	94	1	4	19	37	12	3	16	2	定員101名
1年未満	5							4	1	
1年～	4							4		
2	3							3		
3	3							2	1	
4	2							2		
5	1							1		
6										
7	2						2			
8										
9										
10	2					1	1			
11	2					2				
12										
13	3				1	2				
14	3				1	2				
15	4				2	2				
16	3				1	2				
17	1					1				
18	7				7					
19	4				4					
20	3				3					
21	4				4					
22	2				2					
23	3				3					
24	2				2					
25	1				1					
26	3				3					
27										
28	2				2					
29										
30	2			1	1					
31	2			2						
32	5			5						
33	2			2						
34	2			2						
35	2			2						
36										
37	3			3						
38										
39										
40	4		4							
41	3	1		2						
42										
43										
44										
平均勤続年数	19.6	41.0	40.0	34.2	20.8	13.8	8.0	2.1	2.0	

※　再任用職員は含まない。

Ⅲ　　消 防 団



14. 名取市消防団の沿革

年　月　日	内　　容
明治 27 年 5 月 1 日	増田町消防組（公設）設置
9 月 1 日	館腰村消防組（公設）設置
	愛島村消防組（公設）設置
30 年 4 月 1 日	東多賀村（その後の閖上町）消防組（公設）設置
大正 13 年	下増田村消防組（公設）設置
	吉田消防組（私設）を高舘村消防組（公設）へ移管
昭和 3 年 4 月 1 日	増田町消防組、自動車ポンプ配置
14 年 4 月 1 日	各町村消防組、警防団に改組
22 年 8 月 22 日	各町村警防団、消防団に改組（総員 766 名）
30 年 4 月 1 日	町村合併により名取町消防団発足
31 年	宮城県消防協会長より竿頭綬を受賞
32 年	宮城県知事より竿頭綬を受賞
2 月 11 日	日本消防協会長より表彰旗を受賞
33 年 3 月 7 日	国家消防本部長（現在の消防庁長官）より竿頭綬を受賞
9 月 20 日	第 1 回宮城県消防操法大会出場（ポンプ車操法第 2 位入賞）
10 月 1 日	市制施行により名取市消防団発足
34 年 8 月 25 日	第 2 回宮城県消防操法大会出場（ホース巻きの部優勝）
10 月 31 日	消防団常備部設置（ポンプ車 1、職員 3 名）（団員 530 名）
36 年 9 月 6 日	第 4 回宮城県消防操法大会出場
40 年 11 月 1 日	消防庁舎完成
41 年 4 月 1 日	消防団常備部廃止、消防本部・消防署設置
	（団員 480 名、増田分団、閖上分団に自動車部）
42 年 8 月 19 日	第 10 回宮城県消防操法大会出場
45 年 11 月 3 日	宮城県知事より表彰旗を受賞
48 年 8 月 28 日	第 16 回宮城県消防操法大会出場
53 年 6 月 12 日	宮城県沖地震（マグニチュード 7.4）
56 年 2 月 11 日	日本消防協会長より竿頭綬を受賞
57 年 5 月 26 日	宮城県消防協会長より表彰旗を受賞
7 月 30 日	第 25 回宮城県消防操法大会出場
58 年 5 月 1 日	増田分団自動車部を廃止し、館腰分団にポンプ車を配置
	団本部付部長を新設＜ラッパ隊長＞（これらにともない各分団の定数変更）
61 年 3 月 5 日	消防庁長官より表彰旗を受賞（消防本部と連名）
6 月 16 日	新消防庁舎完成（新たに消防団室設置）
8 月 5 日	台風 10 号による集中豪雨（降水量 436㎜、罹災 326 世帯、1,134 名、床上浸水 310
	棟、床下浸水 1,410 棟、実施水防工法 10 箇所、消防団出動人員延 524 名）
62 年 10 月	消防無線受令機を各分団長に配置
12 月	消防団緊急伝達システム親局（消防本部）及び子局（増田・閖上分団）設置
平成元 年 3 月	消防団緊急伝達システム子局（愛島・高舘分団）設置
11 月 6 日	小型動力ポンプ積載車新規導入　以降順次整備
2 年 3 月	消防団緊急伝達システム子局（下増田・館腰分団）設置
6 月 22 日	消防ポンプ自動車更新（ＣＤ－Ⅰ型、閖上分団）

年　月　日	内　　容
平成 2 年 8 月 24 日	第 33 回宮城県消防操法大会出場（総合第 4 位）
3 年 3 月	ポンプ置場改築分より団員詰所の公設始まる
4 月	高舘分団第 2 部に 2 台配置されていたポンプの 1 台を廃止し、4 名の班長を 2 名に削減。団本部付副分団長を新設（これらに伴い各分団の定数変更）
5 年 3 月	消防無線受令機を分団長を除く部長以上の幹部に配置
6 年 4 月 1 日	団本部付分団長導入
6 月 15 日	婦人消防団員（10 名）任命（夏・冬制服を貸与）
8 月 9 日	消防団旗更新
9 月 22 日	9.22 集中豪雨（降水量 328㎜、罹災 2,908 世帯、9,702 名、床上浸水 946 棟、床下浸水 1,736 棟、実施水防工法 17 箇所、消防団出動人員延 846 名）
10 月 27 日	第 10 回全国婦人消防操法大会出場（総合第 7 位）
7 年 6 月 23 日	団本部指揮車寄贈（日本消防協会）
8 年 2 月	婦人消防団員を本部付けとする（これにともない各分団定数変更）
9 年 10 月	ラッパ（5 台）寄贈受ける
10 年 3 月	夏作業服・アポロキャップを全団員に貸与（旧略帽を廃止）
11 年 8 月	消防団活性化計画等検討委員会設置（委員 11 名）
	12 年 3 月、検討結果報告提出
12 年 2 月	女性消防団員を広報により公募（12 年 5 月、9 名任命）
3 月	簡易救助資機材各部に配備完了
6 月	部長以上にポケットベル配備
7 月	第 41 回宮城県消防操法大会出場
13 年 3 月	小型動力ポンプを配置した 35 部すべてに小型動力ポンプ積載車配備完了
4 月	女性消防団員から女性消防隊に名称を改め、隊員を増員（これにともない各分団定数変更）
	名取市消防団活性化計画策定
5 月 26 日	名取川・阿武隈川下流水防演習実施
8 月	消防団行事・訓練検討委員会設置
9 月	女性消防隊員応急手当普及員資格習得
14 年 3 月	班長にポケットベル配備
	消防団車庫・詰所全地区整備完了
15 年 3 月 25 日	団本部査察広報車寄贈（日本消防協会）
17 年 1 月	幹部会申し合わせ事項を策定（定年制等）
2 月	班長以上に緊急災害情報メール配信開始（これに伴いポケットベルを廃止）
	名取市消防本部ホームページに地区分団紹介を掲載
19 年 4 月	名取市消防団事業企画運営部会設置（部員 18 名）
8 月	女性消防隊隊旗を整備
	女性消防隊夏・冬制服一式を更新
20 年 12 月	新基準活動服・編上靴を全団員に貸与
21 年 1 月	名取市消防団協力事業所表示制度実施
22 年 6 月	消防団緊急伝達システム廃止（災害伝達方法を防災行政無線に移行）
10 月	消防庁から救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車１台の無償貸与を受ける

年　月　日	内　　容
平成 23 年 3 月 11 日	3 月 11 日、14 時 46 分三陸沖を震源とするM9.0 の東北地方太平洋沖地震が発生
	15 時 52 分大津波の襲来により閖上分団、下増田分団は甚大な被害を受ける
	消防団員殉職者 16 名
	消防団施設 6 棟流失、小型動力ポンプ積載車 7 台全損
	捜索活動延べ日数 14 日間、延べ人員 1,576 人
7 月 18 日	消防職団員殉職者合同慰霊祭を執り行う
24 年 3 月	救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車に更新開始
	小型動力ポンプ付積載車 2 台更新（サントリー㈱より寄贈）
11 月	平成 22 年 10 月に消防庁より貸与を受けた、救助資機材搭載型小型ポンプ付き積載車が東日本大震災の津波被害により全損した為に、消防庁より再貸与を受ける
25 年 3 月	消防無線のデジタル化に伴い消防団積載車全車両にデジタル無線機を配備
	携帯型デジタル簡易無線機(トランシーバー型)を幹部団員、及び各部に２台配備
	消防無線のデジタル化に伴い消防団緊急伝達システムを再設置
26 年 2 月	携帯型デジタル無線機を幹部団員に配布（サントリー㈱より寄贈）
3 月	小型動力ポンプ付積載車１台更新（サントリー㈱より寄贈）
	救命胴衣を各分団に配布（消防団員公務災害補償等共済基金）
4 月	出動手当の見直しを実施
27 年 3 月	小型動力ポンプ付積載車 2 台更新（サントリー㈱より寄贈）
	携帯型デジタル無線機を幹部団員に配布（副分団長以上幹部団員全員に配布完了）

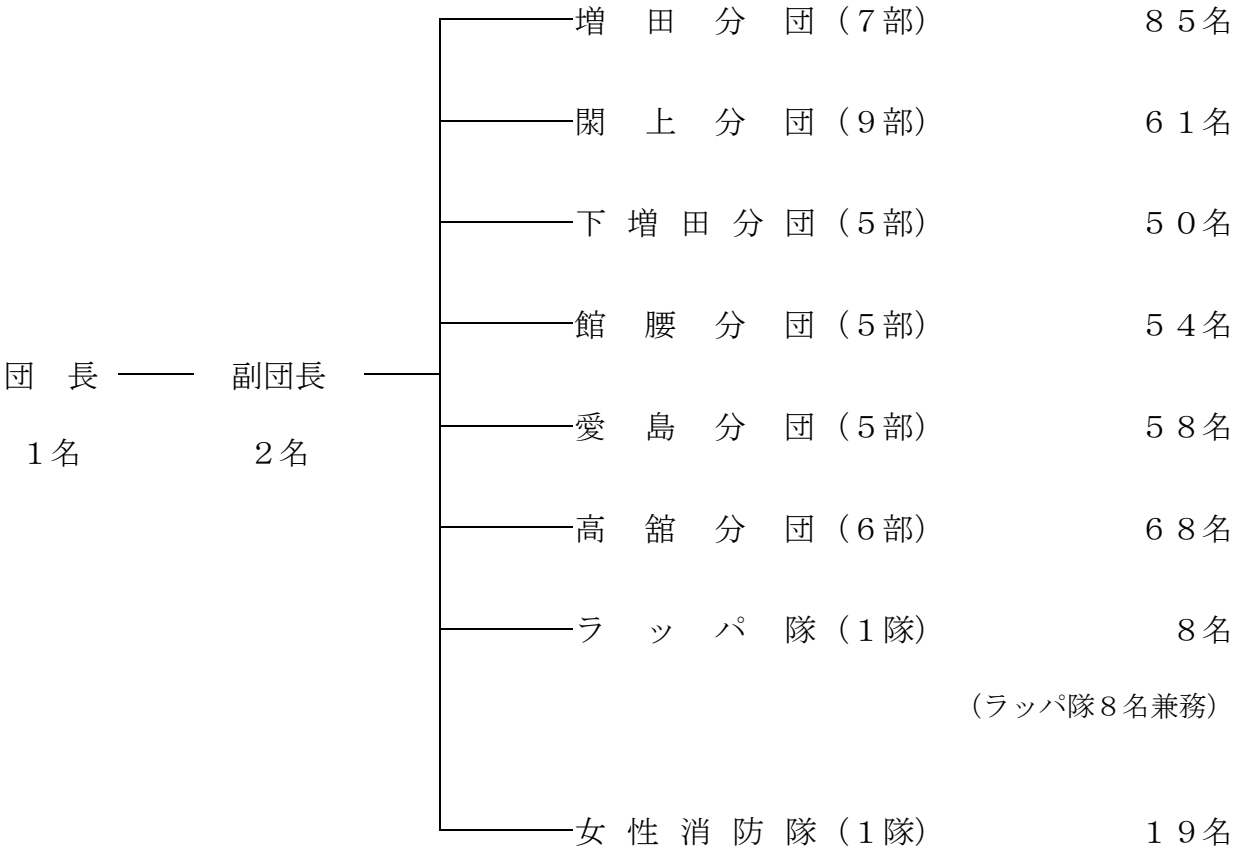
15. 平成26年度消防団主要行事

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

月　日	行　事　名	内　　容	開催場所
5.25	名取川・阿武隈川下流総合水防演習	出水期を前に水防技術の向上を図るとともに国・県・市町村及び防災関係機関の連携強化、地域住民の水防に対する意識の高揚を図る為に実施（81名参加）	名取市高舘熊野堂地先
7.22	消防団デジタル無線及び簡易無線機取扱訓練	消防団副分団長以上幹部に無線機の取り扱い訓練を実施（13名参加）	名取市消防本部消防団室
7.26	消防操法伝達講習会	操法指導会に向けての講習会を実施する（154名参加）	名取市消防本部車庫前
11.1	消防団災害出動研修会	各分団員が出動から、災害現場等での指示や報告、連絡を消防無線等を有効活用出来る様に無線の使用方法等について研修を実施（117名参加）	名取市消防本部講堂
11.1	班長以上幹部訓練及びラッパ隊訓練	幹部に対し部隊行動の指揮能力向上とラッパ隊の吹奏訓練を実施する（113名参加）	岩沼市阿武隈川河川敷グラウンド
11.9	消防協会名取地区支部連合演習	団員を諸制式に習熟させ、部隊行動を警戒し消防諸般の基礎を作る（309名参加）	岩沼市阿武隈川河川敷グラウンド
11.10	火災予防週間普及啓発運動	市内の各駅前にて火災予防運動をPRする（女性消防隊16名参加）	名取駅、杜せきのした駅、館腰駅、美田園駅
11.15 ～ 11.16	災害弱者宅防火訪問	2日間にわたり対象世帯を防火訪問する ※3月にも実施（女性消防隊34名参加）	市内各地区
1.11	平成27年名取市消防出初式	年頭にあたり、市内消防機関が一堂に会し防災への決意を新たにする（361名参加）	名取市民体育館前広場
2.14	消防団班長以上幹部研修会	消防団班長以上幹部団員が一堂に会し、講師として名取市防災安全課長を招き、大規模災害に対する防災の取り組みについて研修を実施（80名参加）	名取市商工会館
3. 1 ～ 3. 7	春季火災予防運動	火災の起こりやすい時期を迎え、一人一人の防火意識を高めるため、地区の協力団体と共に地域に密接した活動を展開	市内各地区
3.22	消防団員研修会	消防団員が職務上、災害現場等において強い精神的ストレスを受けることもあることから惨事ストレス等の対処法について講師を招き研修を実施（100名参加）	名取市文化会館中ホール

16. 消防団の機構及び人員

（平成 27 年 4 月 1 日現在）



17. 歴代消防団長・副団長

年　月　日	団　　長	副　団　長	
昭和 30. 4. 1	日地谷　栄　一	渡　辺　六之助	齋　　政　治
34. 4. 1			川　島　芳　男
38. 4. 1	川　島　芳　男		相　沢　春　吉
40. 7. 3		(欠　員)	
40. 8. 1		高　橋　捨　蔵	
42. 4. 1			小　林　兵　吉
46. 1. 18		(欠　員)	
46. 4. 1		伊　深　喜代治	星　　直　志
50. 4. 1	伊　深　喜代治	遠　藤　忠　児	
54. 4. 1	星　　直　志	立　花　　寛	庄　司　　勇
56. 8. 21		(欠　員)	
56. 10. 1		相　沢　秀　夫	
60. 10. 1		今　野　治　郎	
62. 4. 1	今　野　治　郎	武　田　忠　男	庄　子　　昭
平成 3. 4. 1		高　橋　愼次郎	
7. 4. 1	庄　子　　昭	大　友　　章	今　野　栄　次
9. 4. 1	大　友　　章	針　生　幸　作	
11. 4. 1			佐　伯　勇　治
13. 4. 1	針　生　幸　作	高　橋　清太郎	
15. 4. 1			庄　子　彰　悦
17. 4. 1	今　野　市　郎	丹　野　善　雄	昆布谷清太郎
21. 4. 1	昆布谷清太郎	猪　股　富　男	松　浦　岩　男
25. 4. 1	猪　股　富　男	松　浦　岩　男	根　元　勝　治
27. 4. 1	松　浦　岩　男	根　元　勝　治	松　浦　泰　信
現在			

18. 階級別年齢別団員数

（平成27年4月1日現在　単位：人）

区　　分	合 計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
合　　計	398	1	2	6	6	35	70	278
満18歳								
19								
20								
21								
22	2							2
23	1							1
24								
25								
26	4							4
27	2							2
28	4							4
29	1							1
30	7							7
31	3							3
32	5							5
33	17						1	16
34	8							8
35	11							11
36	13						2	11
37	16							16
38	20							20
39	17						2	15
40	18						1	17
41	17					1	2	14
42	22						4	18
43	13				1		2	10
44	13						1	12
45	16						4	12
46	10						3	7
47	17					2	6	9
48	9						3	6
49	11					3	5	3
50	9					2	3	4
51	20			1	1	3	5	10
52	10			1		2	5	2
53	11		1			2	3	5
54	10					1	4	5
55	10					5	3	2
56	8				2	2	3	1
57	5				1	1		3
58	13				1	2	4	6
59	6		1			2	1	2
60	4			1		2		1
61	4			2			1	1
62	6	1		1		3	1	
63	2					1		1
64	2					1	1	
65								
66								
67	1							1
68								
69								
平均年齢	44.3	62.0	56.0	57.8	53.5	54.6	49.2	41.1

19. 階級別勤続年数別団員数

（平成27年4月1日現在　単位：人）

区　　分	合 計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
合　　計	398	1	2	6	6	35	70	278
1年未満	18							18
1年～	16							16
2	21							21
3	19							19
4	16						3	13
5	21						1	20
6	29					1	2	26
7	15						1	14
8	20						1	19
9	13						1	12
10	20					1	2	17
11	16					1	2	13
12	16					1	5	10
13	20					4	4	12
14	10						6	4
15	14					1	3	10
16	10					1	1	8
17	7				1	1	5	
18	13				1		5	7
19	10			1		2	5	2
20	16					3	3	10
21	11			1		4	3	3
22	5				1	1	3	
23	3						2	1
24	5					2	2	1
25	7				1	4	2	
26	6					1	4	1
27	2			2				
28	3			1		2		
29	6				1	1	3	1
30	3				1	2		
31	3		1			1	1	
32	1					1		
33	1			1				
34								
35								
36								
37	1	1						
38	1		1					
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
平均勤続年数	11.4	37.0	34.5	25.8	23.5	20.7	16.8	8.1

20. 消防団員数及び配置状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在　単位：人）

区　分		合　計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
合　計	定　員	480	1	2	6	6	39	76	350
	実　員	398	1	2	6	6	35	70	278
団本部	定　員	24	1	2			2	2	17
	実　員	22	1	2			1	2	16
	うち女性消防隊	19					1	2	16
増田分団	定　員	86			1	1	7	14	63
	実　員	85			1	1	7	14	62
閖上分団	定　員	111			1	1	9	18	82
	実　員	61			1	1	6	12	41
下増田分団	定　員	60			1	1	5	10	43
	実　員	50			1	1	5	10	33
館腰分団	定　員	63			1	1	5	10	46
	実　員	54			1	1	5	10	37
愛島分団	定　員	64			1	1	5	10	47
	実　員	58			1	1	5	10	41
高舘分団	定　員	72			1	1	6	12	52
	実　員	68			1	1	6	12	48

21. 職業別団員数

（平成 27 年 4 月 1 日現在　単位：人）

計	職業構成					就業形態				
	公務員			日本郵政グループ	その他	被用者	自営業者	家族従業者	その他	うち学生
	国家公務員	地方公務員	特殊法人等公務員に準ずる職員							
398		3	21	3	371	287	68	23	20	

22. 分団別消防機械器具配置状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

消防機械器具＼分団名	合計	増田	閑上	下増田	館腰	愛島	高舘
小型動力ポンプ付積載車	32	7	5	4	5	5	6
うち救助資機材搭載型	3				1	1	1
背負い式消火水のう	82		8	11	4	25	34
救命胴衣	277	47	68	48	32	32	50
簡易救助資機材（折込のこぎり・平バール・万能斧・大ハンマー・ジャッキ・ボルトカッター・ヘッドランプ・資機材収納バック）	32	7	5	4	5	5	6
投光機一式（発電機・サーチライト・三脚・コードリール）	22	3	3	3	4	5	4

23. 分団別消防用ホース配置状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在 単位:本）

部別＼分団名	増田	閑上	下増田	館腰	愛島	高舘
合計	140	100	80	100	100	120
第 1 部	20		20	20	20	20
第 2 部	20		20	20	20	20
第 3 部	20	20	20	20	20	20
第 4 部	20		20	20	20	20
第 5 部	20	20		20	20	20
第 6 部	20	20				20
第 7 部	20	20				
第 8 部		20				
第 9 部						

【総計 640 本】

24. 消防団施設一覧

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

所属		小型動力ポンプ付積載車車庫			火の見櫓	サイレン
分団	部	所在地		建築年月	ホース乾燥塔	
増田	1	名取市増田一丁目 745		H.13. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 2.11	
	2	名取市増田四丁目 126-5	(詰所併設)	H. 6.12	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 6.12	
	3	名取市手倉田字諏訪 559-2		S.60. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.18.11	◎
	4	名取市田高字神明 187-1		H. 3.11	鉄骨 3 脚 S.30 年以前	◎
	5	名取市上余田字千刈田 8	(詰所併設)	H.11. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.24.11	◎
	6	名取市下余田字飯塚 502-1		H.10. 2	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.10. 2	◎
	7	名取市杜せきのした一丁目 8-11		H.22. 7	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.22. 7	
閖上	1					
	2					
	3					
	4					
	5	名取市小塚原字西中塚 359-3	(詰所併設)	H. 8. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 8. 3	
	6	名取市牛野字内海 235-4	(詰所併設)	H. 4. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.25.12	◎
	7	名取市大曲字中小路 29	(詰所併設)	H.11. 2	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.11. 2	
	8	名取市高柳字圭田 250-3	(詰所併設)	H.12. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.12. 3	
	9					
下増田	1	名取市下増田字前田 50		H.24.10	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.24. 3	◎
	2	名取市美田園五丁目 7-3		H.21. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.21. 3	
	3	名取市下増田字土手西 15	(詰所併設)	H.10. 2	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.10. 2	
	4	名取市杉ヶ袋字尻田村 9-3		H.26.11	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.26.11	◎
	5					
館腰	1	名取市飯野坂四丁目 390-4	(詰所併設)	H. 9. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 9. 3	◎
	2	名取市植松一丁目 254-1	(詰所併設)	H.13. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.13. 3	◎
	3	名取市植松四丁目 7	(詰所併設)	H. 27. 2	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.27. 2	◎
	4	名取市本郷字矢口 44		H. 7. 3	鉄骨 3 脚 S.62. 3	◎
	5	名取市堀内字鶴 1-1		H. 6. 3	鉄骨 3 脚 S.30 年以前	◎
愛島	1	名取市愛島北目字竹の内 92-1		H. 4.10	鉄骨 3 脚 S.56.10	
	2	名取市愛島笠島字東蔵神 37-1	(詰所併設)	H. 9. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 9. 3	◎
	3	名取市愛島笠島字鳥井崎 60-1	(詰所併設)	H. 6. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ S.62. 3	
	4	名取市愛島小豆島字宇賀崎 332	(詰所併設)	H.12. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.12. 3	
	5	名取市愛島塩手字野田山 11-1		H. 8. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 8. 3	
高舘	1	名取市高舘吉田字宮神明 212-1		H12. 1	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.11.11	◎
	2	名取市高舘吉田字長六反 124-1	(詰所併設)	H. 8. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 8. 3	◎
	3	名取市高舘川上字五性寺 52	(詰所併設)	H. 4.10	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ S.58. 3	◎
	4	名取市高舘川上字台 52-1		H. 9. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ S.30 年以前	
	5	名取市高舘熊野堂字土手下 195	(詰所併設)	H.14. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.14. 3	◎
	6	名取市高舘熊野堂字余方上西 15-2		H. 2.11	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.22.10	

25. 消防団車両配置状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

区　　分	車　両　名	年式	車両メーカー	排気量ｃｃ	ポンプ級別
本　　部	指　揮　広　報　車	Ｈ１５	ニ　ッ　サ　ン	１，７６０	
増　田　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　７	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　９	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
増　田　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１１	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
増　田　６　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１０	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
増　田　７　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１０	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
閑　上　１　部					
閑　上　２　部					
閑　上　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
閑　上　４　部					
閑　上　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
閑　上　６　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　９	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
閑　上　７　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１１	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
閑　上　８　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１２	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
閑　上　９　部					
下　増　田　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１１	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
下　増　田　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　８	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
下　増　田　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１０	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
下　増　田　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
下　増　田　５　部					
館　腰　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１０	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
館　腰　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ト　ヨ　タ	１，９８０	Ｂ－３
館　腰　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ニ　ッ　サ　ン	２，９５０	Ｂ－２
館　腰　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２７	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
館　腰　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２７	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　９	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２５	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２６	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１２	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　８	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１２	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　８	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２６	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ　９	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２２	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　６　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ト　ヨ　タ	１，９９０	Ｂ－３

26. 消防団員出動状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

区　分	火　　災		救助活動		風水害等の災害		演習・訓練等	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防団員	6	173	0	0	2	129	34	1,040
構成比(%)	1.1	5.0	0.0	0.0	0.4	3.7	6.4	30.1

区　分	広報・指導		研修・教育		特別警戒		捜　　索	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防団員	21	85	6	167	452	1,431	0	0
構成比(%)	4.0	2.5	1.1	4.8	85.3	41.4	0.0	0.0

区　分	予防査察 （災害弱者宅防火訪問）		そ の 他 （式典等含む）		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防団員	4	33	5	396	530	3,454
構成比(%)	0.8	1.0	0.9	11.5	100.0	100.0

27. 消防団員火災出動状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

出動 月別	件　　数	放水台数	延べ人員	火災発生件数
1月	3	0	91	5
2月				
3月				2
4月	1	0	56	4
5月	1	0	23	5
6月				1
7月				1
8月	1	0	3	3
9月				2
10月				
11月				2
12月				1
計	6	0	173	26

Ⅳ　　予　　防

28. 防火対象物及び立入検査実施状況

（平成26年4月1日～平成27年3月31日現在　単位：件）

区分			防火対象物数	立入検査実施状況	指導勧告数（延事業所数）
合計			1,867	1,668	199
1項	イ	劇場・映画館等	5	14	
	ロ	公会堂・集会場等	47	56	6
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等			
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	17	26	3
	ハ	性風俗関連店舗			
	ニ	カラオケボックス等	4	8	2
3項	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店	41	41	11
4項		百貨店・マーケット等	134	142	38
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	18	42	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	428	154	25
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	60	5
	ロ	福祉施設等	33	68	1
	ハ	福祉施設等（通所施設）	38	39	5
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	12	22	2
7項		小学校・中学校等	75	128	17
8項		図書館・美術館等	1	2	1
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	2	1
	ロ	（イ）以外の公衆浴場			
10項		停車場・発着場	3	6	
11項		神社・寺院・教会等	29	20	
12項	イ	工場・作業場等	252	256	10
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場	26	11	
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫			
14項		倉庫	200	148	6
15項		前各項以外の事業場	255	114	9
16項	イ	複合用途（特定）	138	131	47
	ロ	複合用途（その他）	42	31	7
16項の2		地下街			
16項の3		準地下街			
17項		重要文化財・美術品等	9	2	
18項		延長50m以上のアーケード			
19項		市町村長の指定する山林			
20項		総務省令で定める舟車		145	

29. 建築確認申請状況

（平成26年4月1日～平成27年3月31日現在　単位：件）

区分			合計	新築	増築	改築	用途変更	その他
合計			175	99	37		3	36
1項	イ	劇場・映画館等						
	ロ	公会堂・集会場等	4	4				
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等						
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等						
	ハ	性風俗関連店舗						
	ニ	カラオケボックス等						
3項	イ	待合・料理店等						
	ロ	飲食店	4	4				
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	7	7				
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所						
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	7	5	1			1
6項	イ	病院・診療所・助産所	3	2				1
	ロ	福祉施設等	3	3				
	ハ	福祉施設等（通所施設）	4		1		2	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1		1			
7項		小学校・中学校等	5		4			1
8項		図書館・美術館等	2	1				1
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	（イ）以外の公衆浴場						
10項		停車場・発着場						
11項		神社・寺院・教会等	1		1			
12項	イ	工場・作業場等	19	10	5			4
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ						
13項	イ	自動車車庫・駐車場	1	1				
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫						
14項		倉庫	6	2	4			
15項		前各項以外の事業場	29	18	5			6
16項	イ	複合用途（特定）	13	6			1	6
	ロ	複合用途（その他）	2	1				1
17項		重要文化財・美術品等						
専用住宅			64	35	15			14
その他								

30. 防火管理者選任及び消防計画届出状況

（平成27年4月1日現在　単位：棟）

区分			防火管理義務対象物数	防火管理者選任対象物数	防火管理者選任率（%）	消防計画作成対象物数	消防計画作成率（%）
合計			694	574	82.7	533	76.8
1項	イ	劇場・映画館等	4	4	100.0	4	100.0
	ロ	公会堂・集会場等	31	21	67.7	21	67.7
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等					
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	15	15	100.0	15	100.0
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	4	4	100.0	4	100.0
3項	イ	待合・料理店等					
	ロ	飲食店	50	44	88.0	43	86.0
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	126	107	84.9	86	68.3
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	14	14	100.0	14	100.0
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	87	60	69.0	56	64.4
6項	イ	病院・診療所・助産所	20	20	100.0	20	100.0
	ロ	福祉施設等	26	26	100.0	26	100.0
	ハ	福祉施設等（通所施設）	32	32	100.0	32	100.0
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	10	10	100.0	10	100.0
7項		小学校・中学校等	23	23	100.0	23	100.0
8項		図書館・美術館等	1	1	100.0	1	100.0
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	100.0	1	100.0
	ロ	（イ）以外の公衆浴場					
10項		停車場・発着場					
11項		神社・寺院・教会等	19	16	84.2	12	63.2
12項	イ	工場・作業場等	37	30	81.1	27	73.0
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ					
13項	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫					
14項		倉庫	18	9	50.0	9	50.0
15項		前各項以外の事業場	53	34	64.2	28	52.8
16項	イ	複合用途（特定）	100	84	84.0	83	83.0
	ロ	複合用途（その他）	23	19	82.6	18	78.3
16項の2		地下街					
16項の3		準地下街					
17項		重要文化財・美術品等					
18項		延長50m以上のｱｰｹｰﾄﾞ					
19項		市町村長の指定する山林					
20項		総務省令で定める舟車					

31. 中高層防火対象物調

（平成27年4月1日現在　単位：棟）

区分			合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階（以上）
合計			326	177	77	34	11	5	4	3	15
1項	イ	劇場・映画館等	1		1						
	ロ	公会堂・集会場等	1		1						
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等									
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	2	1			1				
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等									
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店									
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等									
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8	1	1		1	2	2		1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	164	80	45	19	3	2	1	2	12
6項	イ	病院・診療所・助産所	7	6				1			
	ロ	福祉施設等	6	2	4						
	ハ	福祉施設等（通所施設）	1		1						
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1	1							
7項		小学校・中学校等	29	20	7	2					
8項		図書館・美術館等									
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	（イ）以外の公衆浴場									
10項		停車場・発着場									
11項		神社・寺院・教会等									
12項	イ	工場・作業場等	13	10	2		1				
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ									
13項	イ	自動車車庫・駐車場	3	1	2						
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫									
14項		倉庫	12	7	4		1				
15項		前各項以外の事業場	23	13	3	3	3			1	
16項	イ	複合用途（特定）	34	20	4	7			1		2
	ロ	複合用途（その他）	21	15	2	3	1				
16項の2		地下街									
16項の3		準地下街									
17項		重要文化財・美術品等									
18項		延長50m以上のｱｰｹｰﾄﾞ									
19項		市町村長の指定する山林									
20項		総務省令で定める舟車									

32. 用途別消防用設備等の設置状況

（対象物数：平成27年4月1日現在　単位：棟）

区分＼消防用設備等			消火設備			警報設備			避難設備	
			消火器	屋内消火栓	スプリンクラー	自動火災報知設備	漏電火災報知器	非常警報設備	避難器具	誘導灯
合計			1,867	208	51	852	33	448	169	621
1項	イ	劇場・映画館等	5	3	1	5		6		5
	ロ	公会堂・集会場等	47	4		26		30	2	35
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等								
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	17	3	1	16		12	3	16
	ハ	性風俗関連店舗								
	ニ	カラオケボックス等	4			4		1		4
3項	イ	待合・料理店等					1			
	ロ	飲食店	41			18	1	23	2	45
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	134	8	6	85	5	93	4	138
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	18	8	2	20	11	13	4	16
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	428	8	1	109	3	16	91	18
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	8	2	37	5	35	6	61
	ロ	福祉施設等	33	3	25	32	3	10	4	30
	ハ	福祉施設等（通所施設）	38	1		32		14	3	33
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	12	3		10	1	4	2	9
7項		小学校・中学校等	75	43		63		58	12	17
8項		図書館・美術館等	1			1				
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1		1		1		1
	ロ	（イ）以外の公衆浴場								
10項		停車場・発着場	3	1		3				
11項		神社・寺院・教会等	29			2	1	19		1
12項	イ	工場・作業場等	252	45		109	1	23	1	16
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ								
13項	イ	自動車車庫・駐車場	26			10				
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫								
14項		倉庫	200	39		90	1			13
15項		前各項以外の事業場	255	19		56		42	11	35
16項	イ	複合用途（特定）	138	8	13	96		42	14	117
	ロ	複合用途（その他）	42	3		25		6	10	11
16項の2		地下街								
16項の3		準地下街								
17項		重要文化財・美術品等	9			2				
18項		延長50m以上のｱｰｹｰﾄﾞ								
19項		市町村長の指定する山林								
20項		総務省令で定める舟車								

33. 危険物施設数及び立入検査実施状況

（施設数：平成27年4月1日現在）

（検査状況：平成26年4月1日～平成27年3月31日　単位：件）

区分		施設数	立入検査実施数（延）	指示勧告数（延）
合計（A＋B＋C）		284	284	28
製造所（A）		1	1	
貯蔵所	小計（B）	215	215	12
	屋内貯蔵所	14	14	
	屋外貯蔵所	17	17	
	屋内タンク貯蔵所	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	28	28	3
	地下タンク貯蔵所	53	53	1
	簡易タンク貯蔵所			
	移動タンク貯蔵所	102	102	8
取扱所	小計（C）	68	68	16
	給油取扱所	43	43	13
	第一種販売取扱所			
	第二種販売取扱所			
	一般取扱所	25	25	3
	仮貯蔵			

34. 危険物施設の許認可・検査・承認・届出状況

（平成26年4月1日～平成27年3月31日　単位：件）

区分	合計	許可		検査				承認			届出					
		設置	変更	設置完成	変更完成	水圧	水張	仮使用	仮貯蔵	仮取扱	数量変更	保安監督者選任・解任	譲渡・引受	品名変更	軽微な変更	廃止
合計	125	11	8	11	11	3	11	4		1	1	40	2		11	11
製造所																
屋内貯蔵所	7	2		1							1	2				1
屋外貯蔵所																
屋内タンク貯蔵所																
屋外タンク貯蔵所	7			2								2	2			1
地下タンク貯蔵所	11		2		2							6				1
簡易タンク貯蔵所																
移動タンク貯蔵所	23	7		7	2											7
給油取扱所	53	2	4	1	4			3				28			10	1
第一種販売取扱所																
第二種販売取扱所																
一般取扱所	9		2		3			1				2			1	
タンク製造	14					3	11									
仮取扱	1									1						

35. 火薬類貯蔵施設及び保安検査・立入検査実施状況

（平成26年4月1日～平成27年3月31日　単位：件）

火薬類貯蔵施設	保安検査数	立入検査実施数(延)
3	1	1

36. 火薬類許可・届出処理件数

（平成26年4月1日～平成27年3月31日　単位：件）

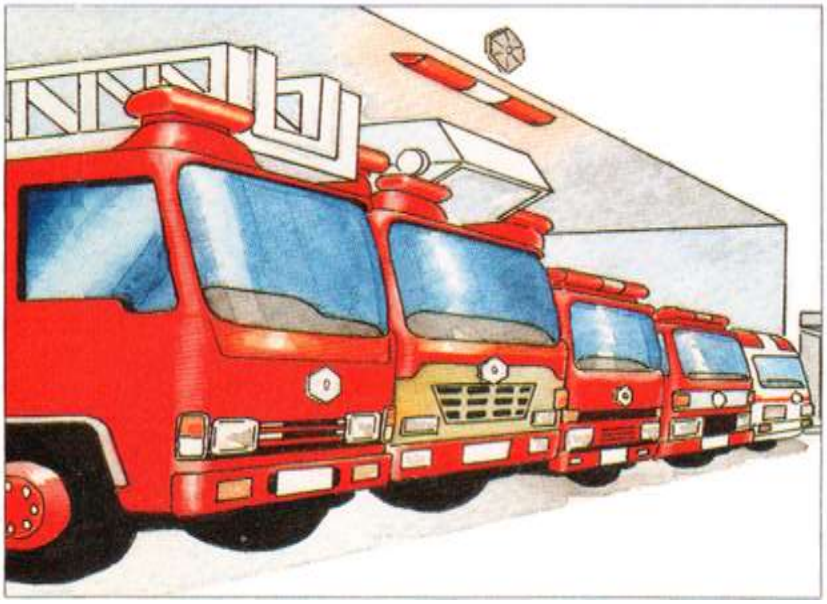
区　　分	件　　数
消費許可（煙火を除く）	4
火薬庫外貯蔵所指示	1
保安検査（火薬庫）	1
火薬類輸入届	1
取扱保安責任者選任解任届	6
火薬庫出納報告	1
火薬類譲渡許可	1
火薬類譲受許可	4

37. 予防関係諸届出状況

（平成26年4月1日～平成27年3月31日　単位：件）

区　　分		届出数
防火対象物使用開始		237
防火責任者選任・解任		290
設備設置	変電設備	31
	発電設備	5
	蓄電設備	12
	ネオン管設備	
少量危険物	貯蔵・取扱	29
	変更	
	廃止	6
指定可燃物	貯蔵・取扱	2
	変更	
	廃止	2
液化石油ガス	貯蔵・取扱	13
	変更	
	廃止	

V　警　防



38. 消防力・消防水利の基準と現有消防力の比較

（平成27年4月1日現在）

区　　分	基準（A）	現有（B）	比較（B-A）	充足率（%）	備　　考
署　　所	4	4	0	100.0	
指　揮　車	1	1	0	100.0	
消防ポンプ自動車	6	6	0	100.0	水槽付きを含む
小型動力ポンプ	33	32	△ 1	97.0	
はしご付消防車	1	0	△ 1	0.0	
化学消防車	2	2	0	100.0	うち１台はポンプ車を化学車換算
救急自動車	4	3	△ 1	75.0	予備車を含まない
救助工作車	1	1	0	100.0	
消　防　吏　員	178	94	△ 84	52.8	
消　防　水　利	1,130	849	△ 281	75.1	メッシュ法による

（メッシュ法とは、消防水利の必要な区域を四角形（メッシュ）で格子状に区切り、その四角形の数を基準数、そのうち、ひとつ以上消防水利のある四角形の数を現有数とする方法である。）

39. 消防吏員出動状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

区　分	火　災（管外への応援出動を含む）		救急業務		救助活動（捜索活動に伴うものを除く）		風水害等の災害	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	26	241	2,877	8,631	23	144	15	53
構成比(%)	0.6	1.7	67.6	61.6	0.5	1.0	0.4	0.4

区　分	演習・訓練等		広報・指導		警防調査		火災原因調査	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	18	291	205	604	151	414	26	31
構成比(%)	0.4	2.1	4.8	4.3	3.6	3.0	0.6	0.2

区　分	特別警戒		捜　　索		予防査察		誤報等	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	82	288	0	0	597	2,542	5	34
構成比(%)	1.9	2.1	0.0	0.0	14.0	18.1	0.1	0.2

区　分	その他		計	
	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	232	735	4,257	14,008
構成比(%)	5.5	5.3	100.0	100.0

40. 消防本部・署車両配置状況

(平成27年4月1日現在)

区分	車両名	年式	メーカー	排気量cc	ポンプ級別等	備考
消防本部	指令車	H 5	ニッサン	1,980		
	防火号	H11	トヨタ	2,180		
	連絡車（ステージア）	H11	ニッサン	2,490		㈱ネッツトヨタ仙台名取店より寄贈
	けすゾウくん	H14	マツダ	1,990		
	マイクロバス（25人乗り）	H 5	日野	3,830		鹿児島県妙見温泉振興会より寄贈
消防署	水槽付消防ポンプ自動車	H20	日野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 ㎥	(一財)空港環境整備協会
	小型動力ポンプ付水槽車	H 2	三菱	6,910	トーハツ B-2 積載水 5 ㎥	
	化学消防ポンプ自動車	H26	日野	6,400	モリタ A-1 積載水 1.3 ㎥ 薬液 0.5 ㎥	(一財)空港環境整備協会
	消防ポンプ自動車	H 9	日野	6,720	モリタ A-2	
	救助工作車	H27	日野	6,400		(一財)空港環境整備協会
	資機材搬送車	H10	三菱	4,560		
	防災車	H 8	ニッサン	4,160		
	査察車	H11	三菱	650		東京都下水道局より寄贈
	査察車	H25	ホンダ	650		名取つばさライオンズクラブより寄贈
	人員搬送車	H25	トヨタ	2,690		サントリーホールディングス㈱より寄贈
	高規格救急自動車	H24	トヨタ	2,690		(一財)空港環境整備協会
	高規格救急自動車	H21	トヨタ	2,690		
	高規格救急自動車	H20	トヨタ	2,690		(一財)空港環境整備協会
	高規格救急自動車3台のうち2台を交互に運用し、1台を非常用としている					
手倉田出張所	水槽付消防ポンプ自動車	H 7	日野	7,410	モリタ A-1 積載水 1.5 ㎥	
閖上出張所	水槽付消防ポンプ自動車	H 9	日野	7,960	日機 A-2 積載水 1.5 ㎥	愛知県名古屋市消防局より寄贈
高舘出張所	水槽付消防ポンプ自動車	H26	日野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 ㎥	
	消防ポンプ自動車	H 9	三菱	4,560	GMいちはら A-2	神奈川県海老名市消防本部より寄贈
	高規格救急自動車	H25	トヨタ	2,690		JA名取岩沼・JA共済連宮城より寄贈

41. 消防資器材保有状況

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

種別	品名	数量	種別	品名	数量
放水器具	エアーフォームノズル	6	救急資器材	酸素吸入装置	11
	ラインプロポーショナー	3		自動吸引器	8
	東消式高発泡ノズル	4		減圧式ギブス	5
	東消式フォグガン	6		血圧計	11
	プロジェットガン	6		紫外線殺菌ロッカー	2
	背負い式消火水のう	14		レスキューシート	3
	組み立て式水槽	13		スピードボード	5
	ウォーターチャージャー	3		KED	1
	消防用ホース（50 ㎜）	224		リングカッター	2
	消防用ホース（65 ㎜）	249		マイクロベント	5
救助器具	救命索発射銃	2		喉頭鏡	9
	救命ボート（アルミ製）	1		マギール鉗子	8
	救命ボート（ゴム製）	1		自動心マッサージ器	1
	船外機	3		心肺蘇生人形	28
	救命胴衣	39		携帯型パルスオキシメーター	8
	空気式救助マット	1		防毒マスク	22
	ロープ登降機	1	高度救命資器材	エアストレッチャー	1
	マット式空気ジャッキ	3		気道管理トレーナー	1
	大型油圧スプレッター	2		自動人工呼吸器	4
	大型油圧カッター	3		AED	4
	エンジンカッター	5		半自動式除細動器	6
	ガス溶断器	1		高度救急処置シミュレーター	2
	酸素溶断器	1		静脈路確保訓練セット	2
	チェーンソー	6		高感度聴診器	1
	エアーツール	2		小児用聴診器	3
	チルホール	4		血管透過装置	1
	電動ハンマー	2		患者監視装置	5
	電動丸鋸	1		CO_2モニター	6
	エンジン削岩機	2	保護用具	酸素呼吸器	9
	三連梯子	6		送排風機	3
	カギ付梯子	5		耐熱服	3
	マンホール救助器具	1		耐電衣	7
	画像探査機Ⅱ型	2		防毒衣	2
	充電式破壊器具	9		陽圧式化学防護服	5
測定器具	可燃性ガス測定器	5		発電機	12
	非常警報器	20	その他	投光器一式	12
	超音波膜厚計	1		空気充填用コンプレッサー	1
	音量計	1		ロープ展張計	2
	絶縁抵抗計	3		揚水ポンプ	1
	照度計	1		エアテント	1
	火報試験機一式	1		バスケットストレッチャー	3
	水圧検査器具	1		熱画像直視装置	4
	ピンホール探知器	1		空気呼吸器	43
	超音波板厚計	1		除染シャワーシステム	1
	放射線測定器	2		除染剤散布器	1

42. 消防水利地区別配置状況

（平成27年4月1日現在）

施設別 / 地区別	消火栓			防火貯水槽	プール	海
	地下式	地上式	小計			
増田	340 (299)	15 (15)	355 (314)	31 (31)	4 (4)	0 (0)
閖上	146 (128)	8 (7)	154 (135)	11 (11)	2 (2)	10 (10)
下増田	43 (33)	1 (1)	44 (34)	16 (14)	1 (1)	0 (0)
名取が丘	54 (48)	0 (0)	54 (48)	8 (8)	1 (1)	0 (0)
館腰	157 (132)	5 (5)	162 (137)	25 (22)	1 (1)	0 (0)
愛島	161 (135)	2 (2)	163 (137)	33 (31)	1 (1)	0 (0)
高舘	251 (193)	24 (16)	275 (209)	31 (30)	6 (6)	0 (0)
杜せきのした	29 (29)	0 (0)	29 (29)	17 (17)	0 (0)	0 (0)
美田園	60 (60)	0 (0)	60 (60)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
合計	1,241 (1,057)	55 (46)	1,296 (1,103)	180 (172)	16 (16)	10 (10)

（ ）内は基準内水利数

43. 消火栓管径別状況

（平成27年4月1日現在）

管径（mm）	合計	100未満	100～150	200～250	300以上
設置数	1,296	165	779	229	123

44. 消防相互応援協定等締結状況

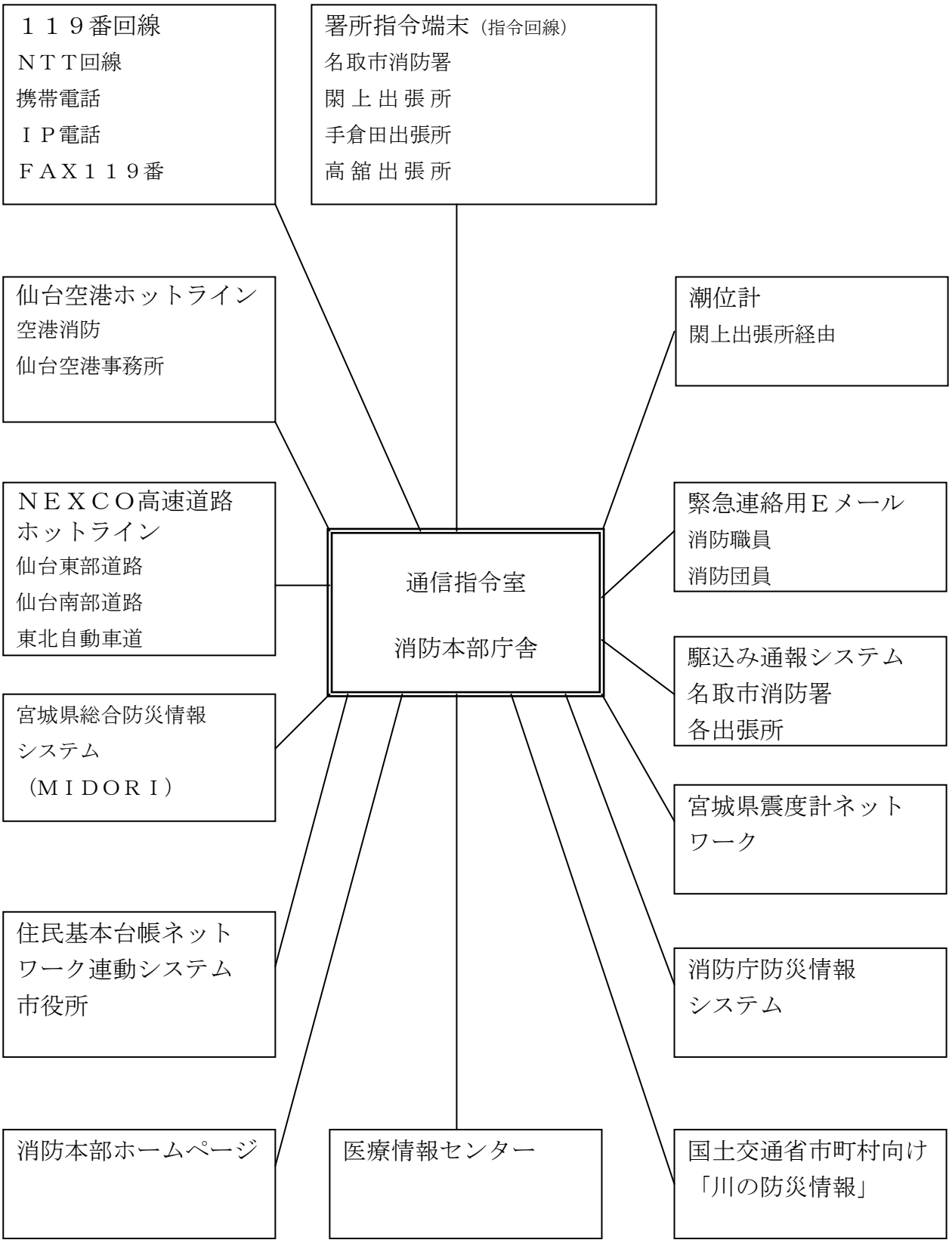
応援協定等の名称	発効年月日	協定の内容
1．消防相互応援協定	Ｓ４８．３．１	○協定市等（9団体） 名取市・仙台市・岩沼市・塩釜市・多賀城市 松島町・七ヶ浜町・利府町・塩釜地区消防事務組合 ○目　　的 大規模火災、特殊火災、突発的災害に対して相互応援。
2．名取市消防本部と仙台市ガス局とのガス災害対策に関する業務協定	Ｓ５７．５．３１	○協定団体 仙台市ガス局 ○目　　的 仙台市ガス局が供給するガスに起因する災害の防止、又は災害が発生した場合、被害の軽減を図るため相互に協力する。
3．名取市消防本部と名取市農業協同組合（名取岩沼農業協同組合）とのガス災害対策に関する業務協定	Ｓ５７．６．１	○協定団体 名取市農業協同組合（名取岩沼農業協同組合） ○目　　的 名取岩沼農業協同組合が供給するガスに起因する災害の防止、又は災害が発生した場合、被害の軽減を図るため相互に協力する。
4．東北自動車道宮城県消防相互応援協定	Ｓ６３．７．１ (H21.9.1一部改正)	○協定市等（6団体・覚書7団体） 名取市・仙台市・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ○目　　的 東北自動車道における火災、救急又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。
5．山形自動車道宮城県消防応援協定	Ｓ６３．１１．１	○協定市等（3団体） 名取市・仙台市・仙南地域広域行政事務組合 ○目　　的 山形自動車道のうち、笹谷ＩＣまでの区間における消防業務に関する応援を実施する。
6．宮城県広域消防相互応援協定	Ｈ４．４．１	○協定市等（１２団体） 仙台市・名取市・岩沼市・石巻地区広域行政事務組合・塩釜地区消防事務組合・亘理地区行政事務組合・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・登米地域広域行政事務組合（登米市）・気仙沼本吉地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ○目　　的 大規模、又は特殊な災害に際し、県内全消防本部が相互に支援する。

応援協定等の名称	発効年月日	協定の内容
７．宮城県広域航空消防応援協定	Ｈ４．４．１	○協定市等（１２団体） 仙台市・名取市・岩沼市・石巻地区広域行政事務組合・塩釜地区消防事務組合・亘理地区行政事務組合・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・登米地域広域行政事務組合（登米市）・気仙沼本吉地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ○目　　的 宮城県の所有する防災ヘリコプターの応援を求めることについて、必要な事項について協定。
８．仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定	旧　協定 Ｈ６．３．３０ （H13.8.1　廃止） Ｈ１７．３．１５ （H25.7.1一部改正）	（仙台市） ○協定市（３団体） 仙台市・名取市・仙南地域広域行政事務組合 ○目　　的 仙台東部道路等において、火災、救急、又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。
９．仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	旧　協定 Ｓ４８．３．１ Ｈ６．９．８ （H22.3.31一部改正）	（仙台空港事務所・名取市・岩沼市） ○協定市等（４団体） 仙台空港事務所・仙台市・名取市・岩沼市 ○目　　的 空港、及びその周辺における航空機に関する火災、若しくは空港におけるその他の火災、又はそれらの発生のおそれのある事態に際し、緊密な協力のもとに一貫した消火救難活動を実施し、被害の防止、又は軽減を図ることを目的とする。
１０．仙台東部道路消防相互応援協定	Ｈ７．７．７ （H13.8.1一部改正）	○協定市 岩沼市 ○目　　的 仙台東部道路において、火災、救急、又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。
１１．宮城県内航空消防応援協定	Ｈ１３．４．１	○協定市等（１２団体） 仙台市・名取市・岩沼市・石巻地区広域行政事務組合・塩釜地区消防事務組合・亘理地区行政事務組合・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・登米地域広域行政事務組合（登米市）・気仙沼本吉地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ○目　　的 仙台市の保有する消防ヘリコプターの応援を求めることについて、必要な事項について協定。

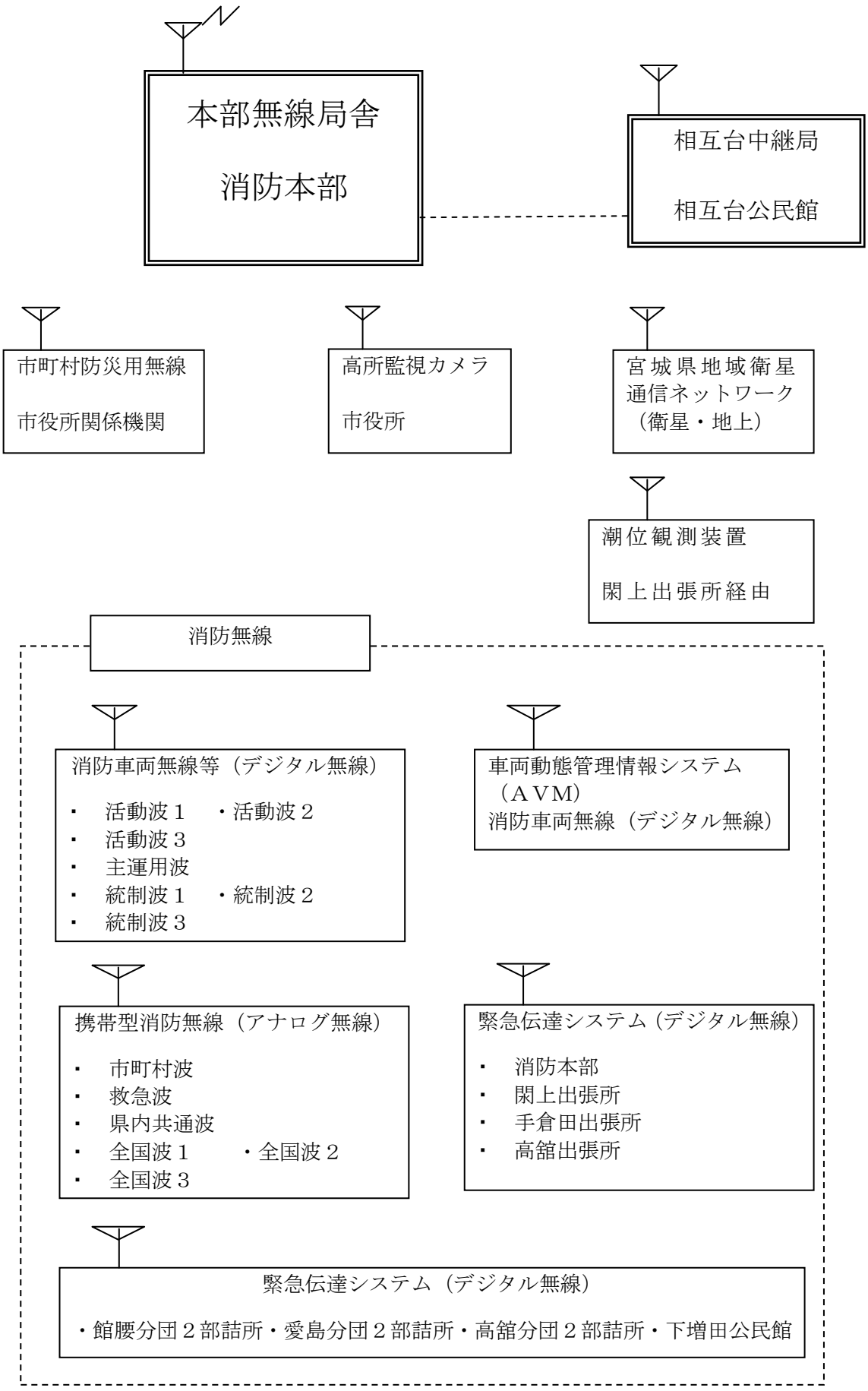
応援協定等の名称	発効年月日	協定の内容
１２．宮城県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定	Ｈ１６．４．１	○協定市等（１３団体） 宮城県・仙台市・名取市・岩沼市・石巻地区広域行政事務組合・塩釜地区消防事務組合・亘理地区行政事務組合・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・登米地域広域行政事務組合（登米市）・気仙沼本吉地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ○目　　的 宮城県に派遣されている職員の応援派遣に関する手続き等について必要な事項の協定。
１３．大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定	Ｈ１７．４．４	○協定団体 株式会社ミナト高橋新蔵商店 ○目　　的 大規模な地震災害及び風水害並びに交通機関等の事故により、市域内に多数の傷病者が発生した場合の軽症者の搬送業務について、必要な事項について協定。
１４．災害発生における消防活動に関する応援協定	Ｈ１９．３．３０	○協定団体 仙南電友会名取支部 ○目　　的 市域内における３階以上の中高層建築物からの火災、列車事故、及び自然災害等の発生に際し、高所作業車の応援を受けて消防活動を有効に行うことについて必要な事項について協定。
１５．鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	Ｈ２１．１２．２５	○協定団体（１８団体） 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社・東日本旅客鉄道株式会社水戸支社・東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社・日本貨物鉄道株式会社・阿武隈急行株式会社・仙台空港鉄道株式会社・仙台臨海鉄道株式会社・仙台市消防局・名取市消防本部・岩沼市消防本部・石巻地区広域行政事務組合消防本部・塩釜地区消防事務組合消防本部・亘理地区行政事務組合消防本部・仙南地域広域行政事務組合消防本部・栗原市消防本部・大崎地域広域行政事務組合消防本部・登米市消防本部・気仙沼本吉地域広域行政事務組合消防本部 ○目　　的 鉄道災害発生時において鉄道事業者と消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動、及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図ることを目的とする。

Ⅵ　通信・指令

45. 通信指令系統図（有線）



46. 通信指令系統図（無線）



47. 通信指令施設一覧

（１）通信指令装置設備　　（平成27年4月1日現在）

指令台	医療情報システム	住民基本台帳連動装置
車両運用表示装置	情報収集用テレビ（4台）	非常用指令施設
病院運用表示装置	情報発信システム （ホームページ）	非常用発電装置
指令電送装置（出力装置4台）	表示装置 （大型ディスプレイ指令室3台、 事務室1台、待機室1台）	署所端末装置（4台）
自動出動指定装置		地域衛星通信ネットワーク
地図検索処理装置	消防車両動態管理情報システム	市防災無線移動局
無線統制台	災害状況等自動案内装置	災害情報・招集一斉発信装置 （Ｅメール）
音声合成装置	119番ファクシミリ受信装置	
気象情報収集装置	消防情報支援システム	消防庁防災情報システム 端末装置
高所監視装置	震度ネットワーク（震度計）	電子式電話交換設備
潮位観測装置		

（２）電話回線

119番回線	一般回線	携帯回線
ＮＴＴ119番回線（4回線）	一般電話（7回線）	救急車車載携帯電話（3台）
IP電話119番回線 ＫＤＤＩ　（2回線） ソフトバンクテレコム　（2回線） ＮＴＴひかり　（2回線）	指令台専用回線 （2回線・INS1回線）	救急車予備携帯電話（1台）
	自動案内回線（INS6回線）	
	インターネット接続回線 （ADSL2回線）	救急活動等動画像伝送用 スマートフォン（3台）
携帯119番回線（4回線）		
	その他機器用回線（2回線）	災害活動用携帯電話（2台）

有線専用回線	他機関専用回線	
指令回線（イーサネット回線）	仙台空港ホットライン	NEXCO高速道路ホットライン

48. 消防救急無線局一覧

消防救急デジタル無線　　（平成27年4月1日現在）

呼出名称	空中線	機器の概要	設置場所
なとりしょうぼう　ほんぶ	10w	基地局 活動波１、活動波２、活動波３、主運用波、統制波１、 統制波２、統制波３	消防本部
なとりしょうぼう　そうごだい	3.16w		相互台公民館

呼出名称	空中線	機器の概要	呼出名称	空中線	機器の概要	設置場所
なとりしょうぼう　しれい１	5w		なとりしょうぼう　５０	1w		指揮２号車積載
なとりしょうぼう　しき１	5w		なとりしょうぼう　５１	1w		水槽１号車積載
なとりしょうぼう　しき２	5w		なとりしょうぼう　５２	1w	移動局	消防本部
なとりしょうぼう　１	5w		なとりしょうぼう　５３	1w	携帯無線	化学１号車積載
なとりしょうぼう　すいそう１	5w	移動局	なとりしょうぼう　５４	1w		化学１号車積載
なとりしょうぼう　すいそう３	5w	車載無線	なとりしょうぼう　５５	1w		水槽３号車積載
なとりしょうぼう　きゅうじょ１	5w		なとりしょうぼう　５６	1w		救助工作車積載
なとりしょうぼう　かがく１	5w		なとりしょうぼう　５７	1w		救助工作車積載
なとりしょうぼう　ささつ２	5w	活動波１	なとりしょうぼう　５８	1w	活動波１	名取消防１積載
なとりしょうぼう　こうほう１	5w	活動波２	なとりしょうぼう　５９	1w	活動波２	指揮２号車積載
なとりしょうぼう　こうほう２	5w	活動波３	なとりしょうぼう　６０	1w	活動波３	水槽１号車積載
なとりしょうぼう　はんそう１	5w	主運用波	なとりしょうぼう　７０	1w	主運用波	手倉田１号車積載
なとりしょうぼう　はんそう３	5w	統制波１	なとりしょうぼう　７１	1w	統制波１	閖上１号車積載
なとりしょうぼう　てくらだ１	5w	統制波２	なとりしょうぼう　７２	1w	統制波２	高舘１号車積載
なとりしょうぼう　ゆりあげ１	5w	統制波３	なとりしょうぼう　７３	1w	統制波３	高舘２号車積載
なとりしょうぼう　たかだて１	5w		なとりしょうぼう　９１	1w		救急１号車積載
なとりしょうぼう　たかだて２	5w		なとりしょうぼう　９２	1w		高舘救急車積載
なとりしょうぼう　きゅうきゅう１	5w		なとりしょうぼう　９３	1w		救急２号車積載
なとりしょうぼう　きゅうきゅう２	5w		なとりしょうぼう　かはん１	5w	移動局	消防本部
なとりしょうぼう　きゅうきゅう３	5w		なとりしょうぼう　かはん２	5w	可搬無線	消防本部
なとりしょうぼう　たかだてきゅうきゅう１	5w					

消防団緊急伝達システム

なとりしょうぼう　くんれんとう	0.05w	固定局	なとりしょうぼう　てくらだ	0.05w	固定局
なとりしょうぼう　ゆりあげ	0.05w		なとりしょうぼう　たかだて	0.05w	
なとりしょうぼう　たかだて１	0.05w	活動波２	なとりしょうぼう　めでしま	0.05w	活動波２
なとりしょうぼう　しもますだ	0.05w		なとりしょうぼう　たてこし	0.05w	

消防団車載無線

なとりしょうぼう　ますだ１ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ３ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ２ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ５ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ３ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ６ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ４ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ７ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ５ぶ	5w	移動局	なとりしょうぼう　ゆりあげ８ぶ	5w	移動局
なとりしょうぼう　ますだ６ぶ	5w	消防団	なとりしょうぼう　しもますだ１ぶ	5w	消防団
なとりしょうぼう　ますだ７ぶ	5w	車載無線	なとりしょうぼう　しもますだ２ぶ	5w	車載無線
なとりしょうぼう　たてこし１ぶ	5w		なとりしょうぼう　しもますだ３ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし２ぶ	5w		なとりしょうぼう　しもますだ４ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし３ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて１ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし４ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて２ぶ	5w	活動波２
なとりしょうぼう　たてこし５ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて３ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま１ぶ	5w	活動波２	なとりしょうぼう　たかだて４ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま２ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて５ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま３ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて６ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま４ぶ	5w				
なとりしょうぼう　めでしま５ぶ	5w				

消防団携帯無線

なとりしょうぼう　だんほんぶ１	１w		なとりしょうぼう　しもますだぶんだん２	１w	
なとりしょうぼう　だんほんぶ２	１w	移動局	なとりしょうぼう　たてこしぶんだん１	１w	移動局
なとりしょうぼう　だんほんぶ３	１w	消防団	なとりしょうぼう　たてこしぶんだん２	１w	消防団
なとりしょうぼう　ますだぶんだん１	１w	携帯無線	なとりしょうぼう　めでしまぶんだん１	１w	携帯無線
なとりしょうぼう　ますだぶんだん２	１w		なとりしょうぼう　めでしまぶんだん２	１w	
なとりしょうぼう　ゆりあげぶんだん１	１w	活動波１	なとりしょうぼう　たかだてぶんだん１	１w	活動波１
なとりしょうぼう　ゆりあげぶんだん２	１w	活動波２	なとりしょうぼう　たかだてぶんだん２	１w	活動波２
なとりしょうぼう　しもますだぶんだん１	１w				

その他の無線

ぼうさいなとり　しょうぼう	県防災無線電話（ＦＡＸ含）（衛星系、地上系）	10w
なとり　カメラ	高所監視装置用簡易無線（上り、下り）	0.015w

消防アナログ無線（携帯無線のみ）　　（平成27年4月1日現在）

呼出名称	県共通波 152.77MHz	市町村波 153.85MHz	全国波1 150.73MHz	全国波2 148.75MHZ	全国波3 154.15MHZ	救急波 143.78MHz 147.78MHz	空中線電力	備考	
なとりしょうぼう　ほんぶ	○	○	○	○	○	○	10w	基地局	
なとりしょうぼう　５０	○	○	○	○	○		5w	化学１号車積載	携帯無線
なとりしょうぼう　５１	○	○	○	○	○		5w	水槽１号車積載	
なとりしょうぼう　５２	○	○	○	○	○		5w	指揮２号車積載	
なとりしょうぼう　５３	○	○					1w	水槽３号車積載	
なとりしょうぼう　５４	○	○	○				1w	名取消防１積載	
なとりしょうぼう　５５	○	○	○				1w	救助工作車積載	
なとりしょうぼう　５６	○	○	○	○	○		5w	救助工作車積載	
なとりしょうぼう　５７	○	○	○				5w	予備	
なとりしょうぼう　６０	○	○	○	○	○		5w	手倉田１号車積載	
なとりしょうぼう　６１	○	○	○	○	○		5w	化学１号車積載	
なとりしょうぼう　６２	○	○	○	○	○		5w	高舘１号車積載	
なとりしょうぼう　６３	○	○	○				5w	高舘２号車積載	
なとりしょうぼう　７０	○	○	○				10w	現場指揮用	
なとりしょうぼう　７１	○	○	○				1w	予備	
なとりしょうぼう　８０	○	○	○	○	○		5w	水槽１号車積載	
なとりしょうぼう　９１	○	○	○				5w	救急１号車積載	
なとりしょうぼう　９２	○	○	○	○	○		5w	救急２号車積載	
なとりしょうぼう　９３	○	○	○				1w	高舘救急車積載	

簡易デジタル無線

消防団長　1台					
副団長　各1台　計2台					
増田分団長	増田副分団長	増田分団 計16台	館腰分団長	館腰副分団長	館腰分団 計12台
増田1-1	増田1-2		館腰1-1	館腰1-2	
増田2-1	増田2-2		館腰2-1	館腰2-2	
増田3-1	増田3-2		館腰3-1	館腰3-2	
増田4-1	増田4-2		館腰4-1	館腰4-2	
増田5-1	増田5-2		館腰5-1	館腰5-2	
増田6-1	増田6-2				
増田7-1	増田7-2				
下増田分団長	下増田副分団長	下増田分団 計12台	愛島分団長	愛島副分団長	愛島分団 計12台
下増田1-1	下増田1-2		愛島1-1	愛島1-2	
下増田2-1	下増田2-2		愛島2-1	愛島2-2	
下増田3-1	下増田3-2		愛島3-1	愛島3-2	
下増田4-1	下増田4-2		愛島4-1	愛島4-2	
下増田5-1	下増田5-2		愛島5-1	愛島5-2	
閖上分団長	閖上副分団長	閖上分団 計20台	高舘分団長	高舘副分団長	高舘分団 計14台
閖上1-1	閖上1-2		高舘1-1	高舘1-2	
閖上2-1	閖上2-2		高舘2-1	高舘2-2	
閖上3-1	閖上3-2		高舘3-1	高舘3-2	
閖上4-1	閖上4-2		高舘4-1	高舘4-2	
閖上5-1	閖上5-2		高舘5-1	高舘5-2	
閖上6-1	閖上6-2		高舘6-1	高舘6-2	
閖上7-1	閖上7-2				
閖上8-1	閖上8-2				
閖上9-1	閖上9-2				
消防本部-1・2・3・4・5		消防本部 **計5台**			

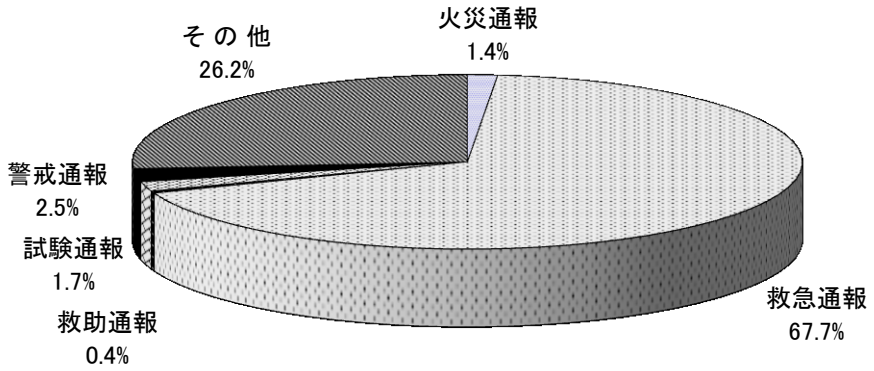
49. 災害通報入電状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火災通報	16		2	3	10	2	4	5	11	2	7	1	63
救急通報	255	207	222	266	267	218	268	252	232	257	229	271	2,944
救助通報	1	1		2	3	3	2	5	1		1		19
試験通報	2	2	10	17	9	4	1		6	9	12	3	75
警戒通報	4	9	3	13	4	7	7	11	9	17	14	9	107
そ の 他	83	80	108	82	109	78	120	88	83	109	115	85	1,140
合　　計	361	299	345	383	402	312	402	361	342	394	378	369	4,348

※その他＝いたずら・間違い・通報訓練等

平成26年災害通報入電割合



50. 病院情報提供状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

種別／科目	１１９番	一般加入	駆け込み	合計	情報提供先病院		平日休日別	
					市内	市外	平日	休日
内　　科	45	111	1	157	57	100	117	40
整形外科	17	44		61	8	53	48	13
小　児　科	22	66	1	89	22	67	66	23
そ　の　他	50	55		105	31	74	66	39
合　　計	134	276	2	412	118	294	297	115

51. 気象観測状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

観測項目	計測値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
風速	平均風速(m/s)	2.3	2.4	2.4	2.1	2.0	1.7	1.6	1.4	1.6	1.8	1.6	2.0	1.9
	最大瞬間(m/s)	22.5	20.7	23.2	22.2	22.0	15.7	18.4	16.7	11.7	19.9	17.2	19.3	-
気温	平均気温(℃)	1.6	1.0	5.1	10.1	15.9	20.0	23.2	24.0	19.9	14.7	9.2	2.5	12.3
	最高(℃)	11.3	12.9	22.4	22.1	29.5	30.9	32.7	34.7	29.0	26.2	20.2	14.9	-
	最低(℃)	-5.6	-6.2	-3.6	0.8	5.3	15.2	17.7	17.3	12.4	5.6	0.0	-4.6	-
湿度	平均湿度(%)	71.4	75.4	74.6	64.7	74.8	88.1	87.8	89.9	81.2	80.9	81.9	79.9	79.2
雨量	月換算雨量(mm)	11.0	63.5	121.5	57.0	56.5	189.0	119.0	83.5	58.0	213.0	45.0	34.5	87.6

Ⅶ　火　災

52. 平成 26 年の火災の実態

１．出火件数

(1)　平成 26 年中の総出火件数は 26 件で、前年の 27 件に比べて 1 件減少している。
総出火件数 26 件のうち、その他の火災が 14 件（54%）、次いで建物火災が 10 件（38%）。
林野火災、車両火災が 1 件（4%）となっている。

(2)　建物火災は、前年の 7 件から 3 件増加し、10 件となっている。

２．　焼損面積

(1)　建物火災の焼損面積は 295.41 ㎡で、前年は 358 ㎡で 17%減少となっている。

(2)　車両の焼損台数は 1 台で、前年の 6 台より 5 台の減少となっている。

(3)　その他の火災による焼損面積は 709.14 ㎡で、前年の 5,676 ㎡の 12%となっている。

３．　損害額

平成 26 年中の火災による損害額は 9,113 千円で、前年は 6,120 千円で約 49%増となっている。そのうち建物火災での損害額が一番多く、7,357 千円となっており全体の約 83%を占めている。

４．　死傷者

平成 26 年中の火災による死傷者は、建物火災で２名の死者が発生し、負傷者はその他の火災で 1 名発生している。

５．出火原因

原因が断定及び推定されているもので一番多いのが放火の疑い 10 件､たばこの不始末 4 件、こんろ類が 2 件となっている。

６．前年との比較について

建物火災が 3 件増加したため、損害額も増加しており、車両火災は 4 件減少したため損害額も減少している。

また、その他の火災において、3 件が自動販売機を焼損したことで前年度より損害額が増加した。

53. 平成26年火災統計総括表

区分／月別	出火件数								焼損面積								死傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	（爆発）	建物（㎡）		建物収容物のみ焼損	林野（a）	車両（台）	船舶（隻）	航空機（機）	その他（㎡）	死者	負傷者
									床面積	表面積								
1月	5	3					2		15							165	1	
2月																		
3月	2						2									192		1
4月	4	2	1				1		276			3					1	
5月	5	2		1			2		5	1			1					
6月	1						1									308		
7月	1	1																
8月	3						3									1		
9月	2	1					1									43		
10月																		
11月	2						2											
12月	1	1																
合計	26	10	1	1			14		296	1		3	1			709	2	1

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

り災棟数					り災世帯数				り災人員	火災種別損害額（千円）							
計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	（爆発）
3			2	1	2			2	6	2,313	2,313						
										4						4	
5	3	1		1	1	1			7	4,790	4,790						
2			2		1			1	3	1,445	217		893			335	
1				1													
1				1						63	37					26	
										498						498	
1				1													
13	3	1	4	5	4	1		3	16	9,113	7,357		893			863	

54. 火災の概況

区分			平成26年 (A)	平成25年 (B)	増減 (A)-(B)＝(C)	増減率(%) (C)/(B)×100
出火件数	建物		10	7	3	42.9
	林野		1		1	－
	船舶					
	車両		1	5	△ 4	△ 80.0
	その他		14	15	△ 1	△ 6.7
	計		26	27	△ 1	△ 3.7
り災棟数	全焼		3	2	1	50.0
	半焼		1			
	部分焼		4	3	1	33.3
	ぼや		5	4	1	25.0
	計		13	9	4	44.4
焼損面積	建物(㎡)	床面積	295	336	△ 41	△ 12.2
		表面積	1	22	△ 21	△ 95.4
	林野(a)		3		3	－
	車両(台)		1	6	△ 5	△ 83.3
	その他(㎡)		709	5,676	△ 4,967	△ 87.5
死傷者	死者		2		2	－
	負傷者		1	2	△ 1	△ 50.0
	計		3	2	1	50.0
り災世帯数	全損		1		1	－
	半損					
	小損		3	5	△ 2	△ 40.0
	計		4	5	△ 1	△ 20.0
り災人員			16	13	3	23.1
火災種別損害額(単位：千円)	建物		7,357	5,046	2,311	45.8
	林野					
	車両		893	1,044	△ 151	△ 14.5
	船舶					
	航空機					
	その他		863	30	833	2,776.7
	計		9,113	6,120	2,993	48.9
出火率(人口1万人当りの件数)			3.4	3.6	△ 0.2	△ 5.6

55. 出火原因別火災件数・損害額

※( )内は建物火災

出火原因	平成26年		平成25年	
	件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
たばこ	4 (1)	212 (212)	3	30
こんろ	2 (2)	5 (5)	2 (2)	0
マッチ・ライター	1 (1)	371 (371)		
ストーブ	1 (1)	505 (505)	1 (1)	15 (15)
放火				
放火の疑い	10 (1)	1,199 (340)	10 (2)	601 (230)
火遊び				
電気器具	1 (1)	0		
電灯・電話等の配線	1 (1)	37 (37)	1 (1)	53 (53)
溶断機・切断機				
火入れ	1	4	2	0
たき火	1	0	1	0
焼却炉			2	183
煙突・煙道				
車両配線器具	1	893		
排気管			1	430
機械の異常	1 (1)	1,468 (1,468)		
その他	1	0		
不明	1 (1)	4,419 (4,419)	4 (1)	4,808 (4,748)
合計	26 (10)	9,113 (7,357)	27 (7)	6,120 (5,046)

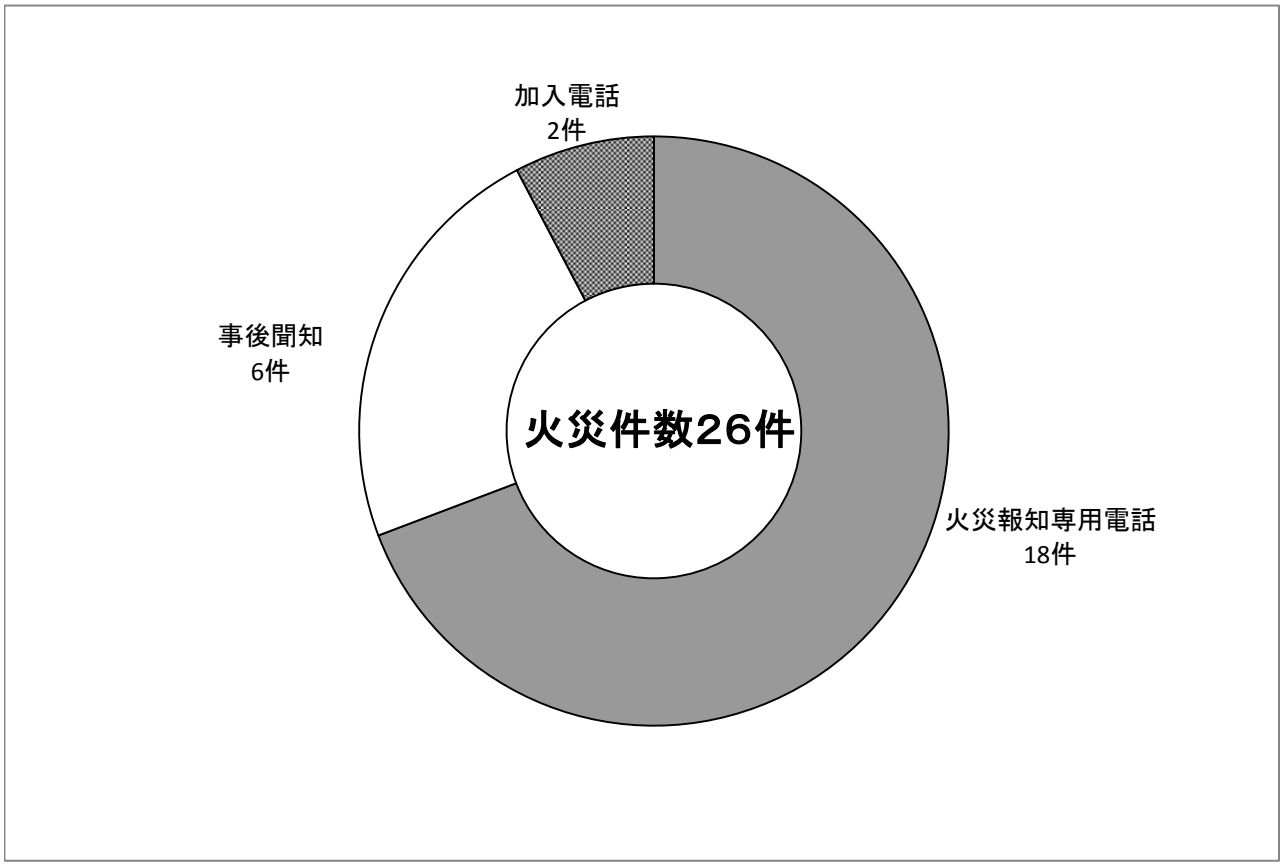
56. 地区別火災発生状況と損害額

	火災件数	世帯数	人口	火災種別					損害額	
				建物	車両	船舶航空機	林野	その他	損害額（千円）	一世帯当たり（円）
増田	9	10,719	26,188	6	1	0	0	2	2,358	220
	(5)	(10,571)	(26,079)	(3)	(1)	(0)	(0)	(1)	(349)	(33)
閖上	2	931	2,263	0	0	0	0	2	434	466
	(3)	(1,029)	(2,537)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(5,178)	(5,032)
下増田	1	2,514	7,018	1	0	0	0	0	340	135
	(3)	(2,274)	(6,386)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(183)	(80)
名取が丘	0	2,297	5,761	0	0	0	0	0	0	0
	(1)	(2,286)	(5,792)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)
館腰	5	3,135	7,907	2	0	0	0	3	1,494	477
	(4)	(3,053)	(7,811)	0	(1)	(0)	(0)	(3)	(380)	(124)
愛島	2	2,720	8,349	0	0	0	0	2	4	1
	(3)	(2,490)	(7,611)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)
高舘	7	6,245	18,621	1	0	0	1	5	4,483	718
	(8)	(6,126)	(18,524)	(2)	(1)	(0)	(0)	(5)	(74)	(12)
計	26	28,561	76,107	10	1	0	1	14	9,113	319
	(27)	(27,829)	(74,740)	(7)	(5)	(0)	(0)	(15)	(6,164)	(221)

（　　）内は平成２５年。人口・世帯数は平成２６年12月末現在

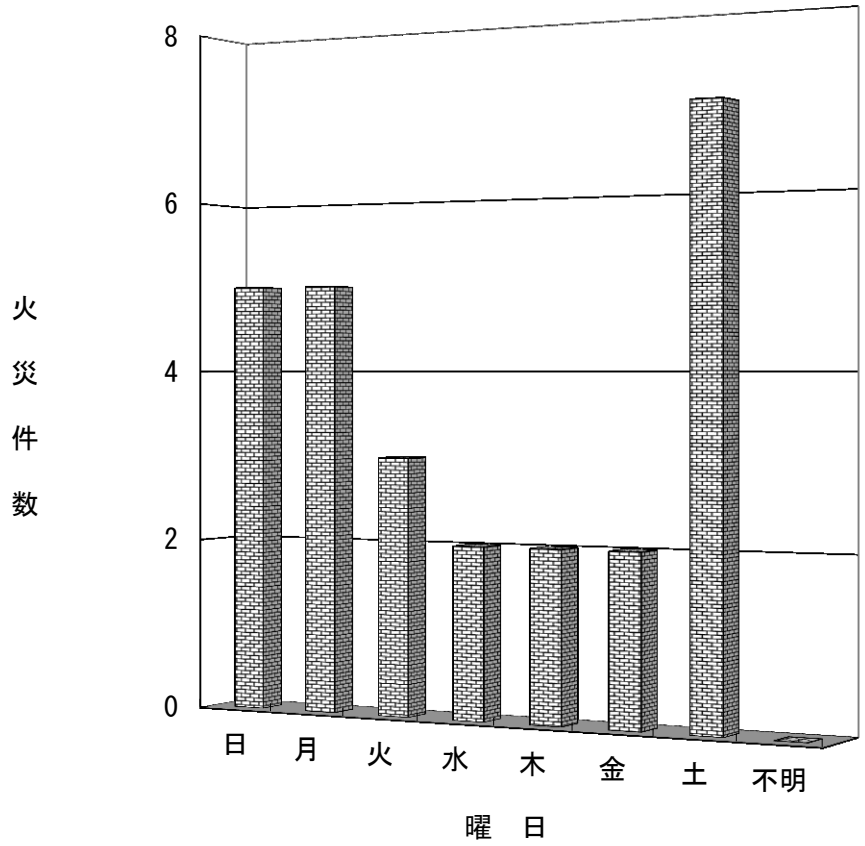
57. 火災覚知別件数

（平成２６年）



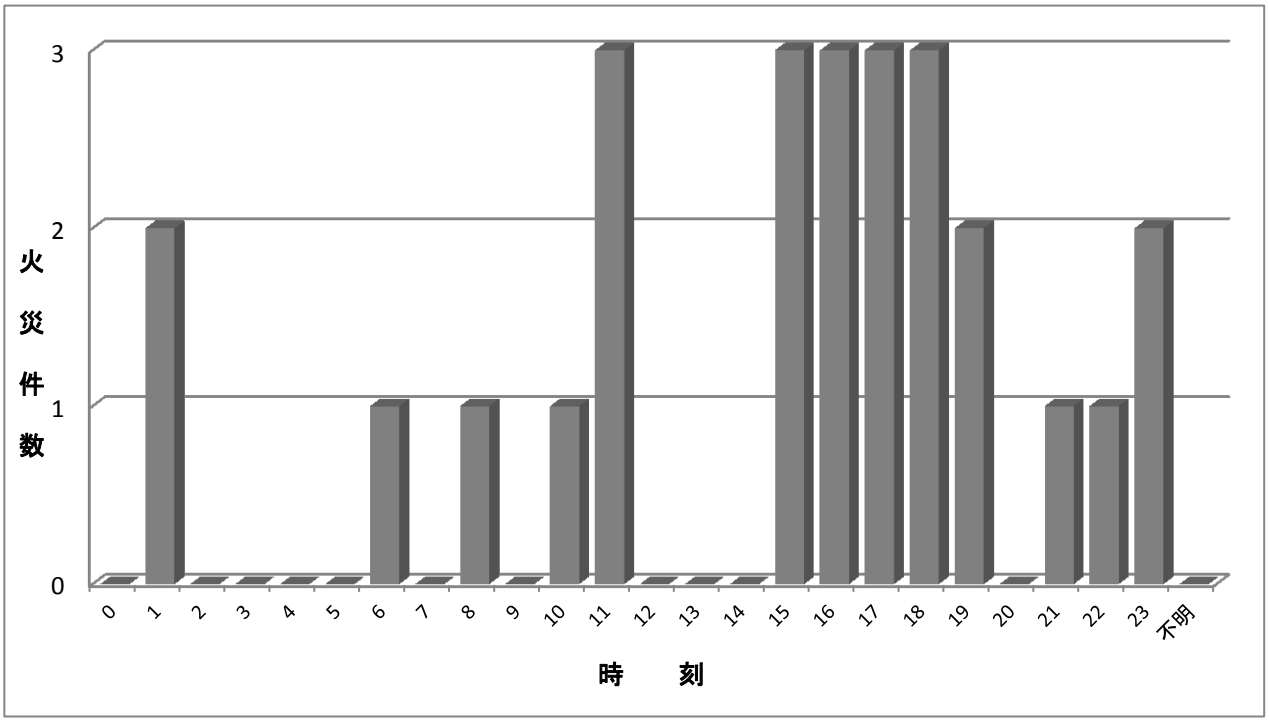
58. 曜日別出火件数

（平成２６年）



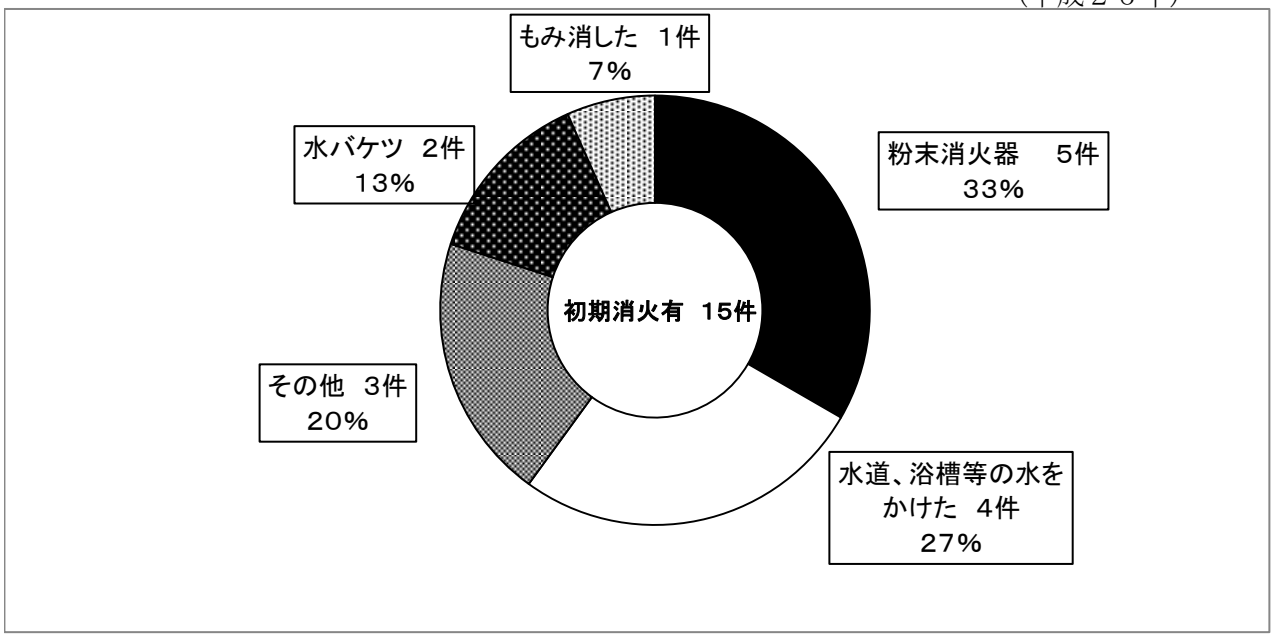
59. 時間別出火件数

（平成２６年）



60. 初期消火器具等使用状況

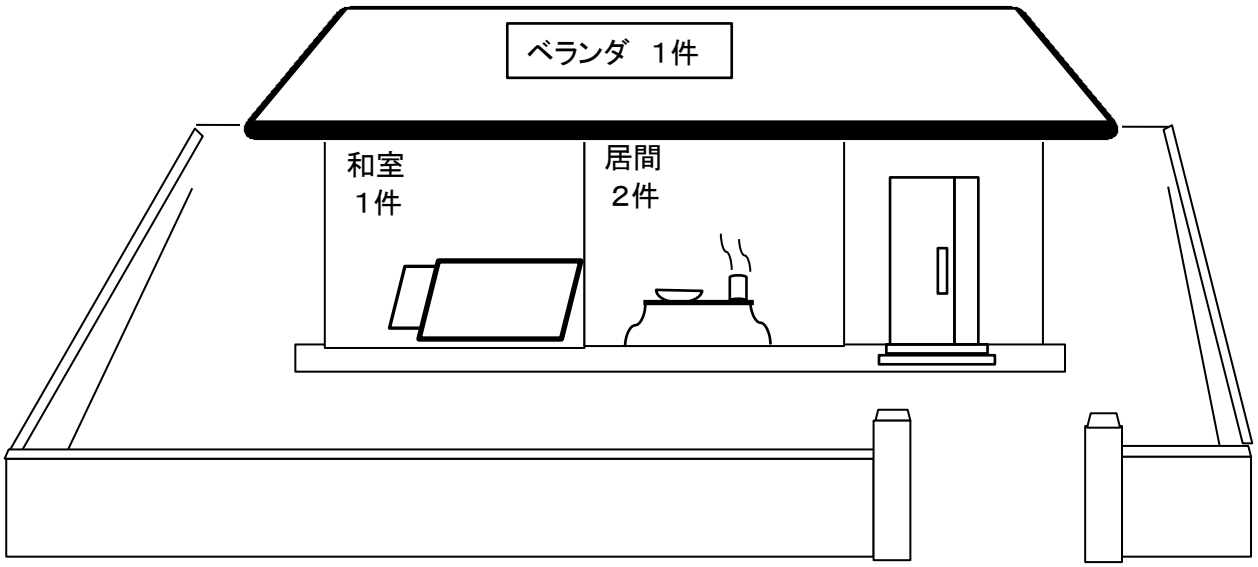
（平成２６年）



61. 建物用途別出火状況

項目 / 用途	件数	焼損面積（㎡）		損害額（千円）
		床面積	表面積	
専用住宅	4	295		5,476
共同住宅				
飲食店舗等	4		1	42
作業場	1			371
その他	1			1,468
合計	10	295	1	7,357

62. 住宅火災の出火箇所



63. 1日あたりの火災発生状況

区　　分		平成26年	平成25年
出　火　件　数		0.07　件	0.07　件
建物焼損面積		0.81　㎡	0.98　㎡
焼　損　棟　数		0.04　棟	0.02　棟
損害額	建物火災	20,156　円	13,825　円
	全火災	24,967　円	16,767　円
り災世帯数		0.01　世帯	0.01　世帯
り災人員		0.04　人	0.04　人

64. 消防署火災出動状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

出動 / 月別	火災件数	放水台数	延べ人数
1月	5	6	76
2月			
3月	2	1	11
4月	4	4	36
5月	5	3	48
6月	1	1	7
7月	1		3
8月	3	1	30
9月	2	2	16
10月			
11月	2	1	10
12月	1		4
計	26	19	241

65. 過去の火災発生件数及び損害額

区分	発生件数	り災世帯数			り災棟数				り災人員数	死者数	負傷者数
		全損	半損	小損	全焼	半焼	部分焼	ぼや			
58年	24	5	―	7	5	1	9		47	1	―
59年	26	2	―	7	4	1	7		35	1	3
60年	40	8	2	10	15	2	13		95	1	3
61年	31	1	2	7	8	3	5		34	1	1
62年	28	2	―	9	5	―	11		32	2	1
63年	23	2	―	7	3	―	8		34	―	4
平成元年	27	3	1	7	5	1	11		38	―	3
2年	35	3	2	5	7	2	7		42	3	1
3年	30	1	1	7	4	2	9		41	1	4
4年	29	5	1	12	6	2	18		73	―	4
5年	39	2	2	9	5	3	17		49	―	9
6年	32	2	1	6	5	3	8		48	2	1
7年	24	―	1	5	―	2	1	9	23	1	―
8年	46	1	―	8	5	4	7	4	45	―	2
9年	40	3	1	13	5	1	8	8	57	1	5
10年	20	3	―	9	7	―	7	5	44	―	6
11年	32	3	1	6	3	4	9	2	34	3	2
12年	49	―	1	9	2	2	9	7	31	1	1
13年	56	4	―	6	5	1	3	8	21	1	3
14年	67	2	1	3	3	1	5	5	20	―	2
15年	45	2	1	15	4	4	8	7	50	2	6
16年	70	2	2	9	3	―	6	7	43	1	3
17年	25	1	2	7	3	1	9	4	34	1	7
18年	28	5	2	14	5	3	5	11	55	1	6
19年	24	2	1	8	1	1	9	4	26	―	3
20年	34	4	2	12	5	4	5	11	61	2	10
21年	39	3	1	7	7	1	6	8	38	1	2
22年	30	3	2	7	6	2	4	7	37	3	5
23年	51	8	3	14	11	4	12	8	63	3	4
24年	26	―	―	6	3	―	11	3	17	―	2
25年	27	―	―	5	2	―	3	4	13	―	2
26年	26	1	―	3	3	1	4	5	16	2	1

焼損面積			損害額（千円）					
林野（a）	建物（㎡）		合計	建物	林野	船舶 航空機	車両	その他
	床面積	表面積						
10	509		35,811	35,578	—	—	233	—
120	625		32,940	28,262	700	—	1,991	1,987
8	1,853		143,602	137,529	—	—	5,342	731
83	1,557		169,485	166,827	1,554	—	972	132
0	510		136,823	24,774	—	1,330	106,481	4,238
67	222		20,099	12,749	180	—	7,170	—
45	990		29,148	28,123	678	—	330	17
30	816		80,083	71,932	—	4,700	360	3,091
124	510		22,684	22,436	—	—	7	241
15	1,211		86,922	86,447	—	—	128	347
136	1,754		115,267	111,749	1,800	—	—	1,718
107	767		47,000	43,944	1,826	—	305	925
25	326		15,139	15,139	—	—	—	—
90	646		35,008	28,347	24	—	3,193	3,444
4	650	29	45,989	44,149	—	—	1,840	—
—	594	76	77,653	75,275	—	390	1,591	397
26	1,573	8	78,997	72,286	308	—	1,899	4,504
116	683	45	86,426	83,822	681	—	1,923	—
—	671	6	58,611	42,466	—	—	16,145	—
196	454	283	36,274	33,858	—	—	2,416	—
17	588	63	70,380	68,184	245	—	1,845	106
199	688	—	75,243	71,959	—	—	2,922	362
1,279	452	23	52,347	49,447	2,428	—	433	39
6	461	34	39,294	32,425	—	—	574	6,295
—	344	71	10,142	9,283	—	—	758	101
—	637	78	96,903	96,663	—	—	240	—
8	651	68	37,517	36,604	—	—	834	79
—	546	62	50,793	34,042	—	15,454	862	405
—	5,976	158	404,957	403,983	—	—	829	145
—	549	8	32,970	32,821	—	—	140	9
—	336	22	6,120	5,046	—	—	1,044	30
3	290	1	9,113	7,357	—	—	893	863

66. 名取市の主な火災

番　号	出　火　場　所	火　災 種　別	出　　火　　日　　時		死　者	負傷者
1	高舘吉田字内舘地内	建　　物	S32. 4. 9	12:45		31
2	本郷字大門地内	車　　両	S47.12.15	0:34	2	1
3	増田字町屋敷東側 （現在、増田3丁目地内）	建　　物	S48. 6. 3	23:50		
4	増田字町屋敷西側 （現在、増田2丁目地内）	建　　物	S51. 2. 3	4:45	2	
5	植松字新橋地内	建　　物	S57. 1.30	21:30		4
6	高舘熊野堂字岩口中地内	建　　物	S57. 2. 7	23:25		2
7	閖上5丁目地内	建　　物	S60.11.19	0:50		
8	植松4丁目地内	建　　物	S61. 2.22	2:37		
9	下余田字飯塚地内	建　　物	S61. 2.25	2:00		1
10	高舘熊野堂字中沢地内 東北自動車道324.9Ｋｐ	車　　両	S62. 3.10	1:40	1	
11	小塚原字遠東地内	建　　物	H 5.11.11	7:15		
12	小塚原字遠東地内	建　　物	H10. 1. 6	0:31		
13	下増田字南原地内	建　　物	H23. 3.11	16:50		

り災世帯	り災人数	焼損棟数	焼損面積	損害額（千円）	出火原因
24	191	68	2,753 ㎡	22,193	たばこの投げ捨て
			1 台	360	衝突による火花
		1	1,112 ㎡	76,237	電気配線による短絡
4	30	7	279 ㎡	16,625	石油ストーブ
		2	429 ㎡	98,126	絶縁劣化
1	5	2	329 ㎡	15,015	風呂釜煙突
2	10	3	524 ㎡	55,647	不　明
		3	238 ㎡	29,261	放　火
1	5	2	275 ㎡	83,682	放　火
			13 台	106,376	衝突の火花
		1	1,114 ㎡	43,760	不　明
		2	1,218 ㎡	35,955	放火の疑い
		1	4,198 ㎡ 45 台	317,114	東北地方太平洋沖地震の津波によるショート

Ⅷ　救急・救助

67. 平成 26 年の救急概要

１．出場件数と搬送人員

平成 26 年中における出場件数は 2,877 件(前年 2,740 件)、搬送人員は 2,592 人(前年 2,562 人)で前年と比較してみると、出場件数は 137 件(4.8%)、搬送人員は 30 人(1.2%)の増である。

これは、市内で一日平均 7.9 回(前年 7.5 回)救急車が出場したことになる。

搬送人員のうち名取市に住所を有する者は 1,877 人で、市民の 38 人(前年 39 人)に 1 人が救急車によって搬送されたことになる。

出場件数を事故種別で見ると、例年と同じく急病が 1,800 件と一番多く全体の 62%を占め、次いで一般負傷 336 件、転院搬送 330 件、交通事故 300 件の順となっている。

一般負傷で搬送された 300 人のうち、80 歳以上が 88 人（29%）であった。

２．月別出場・搬送状況

出場件数の多かった月は 12 月の 264 件、少なかった月は 2 月の 203 件で、搬送人員では 12 月が 240 人と多く 2 月が 184 人と少なかった。

３．曜日別・時間別搬送状況

出場件数は水曜日が 432 件と一番多く、次いで月曜日の 431 件、一番少ないのは日曜日の 369 件の出動件数であった。

事故種別から見て、急病では水曜日が 285 件と多く、次いで日曜日が 263 件となっている。交通事故の出場で多いのは月曜日と火曜日で 50 件、少ないのは日曜日の 30 件である。

時間別出場件数では、8 時から 10 時までが 370 件で最も多く、最も少ないのは 2 時から 4 時までの 103 件である。

４．傷病程度別搬送状況

搬送した傷病者を傷病程度で分けると軽症 988 人、中等症 1,350 人、重症 234 人、死亡 20 人となっている。急病では中等症が多く、交通事故では軽症が一番多くなっている。

５．医療機関への搬送状況

搬送人員 2,592 人のうち 251 人(全体の 9.7%)が市内の医療機関に収容され、残りの人は主に仙台市および岩沼市の医療機関に収容されている。

収容に要した時間別搬送人員は、30 分以上 60 分未満が 1,788 人で全体の約 69%を占めている。

68. 救急統計総括表

１．出場件数

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件）

事故種別 / 区分	事故種別救急出場件数														
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
件数	2,877	8		2	300	22	14	336	11	47	1,800	330			7

２．搬送人員

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

事故種別 / 区分	事故種別搬送人員											
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
人員	2,592	1		1	280	22	14	300	7	29	1,603	335

３．医療機関別搬送状況

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

区分＼医療機関	告知医療機関					その他の医療機関					計					その他の場所	合計
	国公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計	国公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計	国公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計		
搬送人員	705	344	1,160		2,209	115		101	167	383	820	344	1,261	167	2,592		2,592
うち管外	705	344	1,160		2,209	32		63	37	132	737	344	1,223	37	2341		2,341

４．転送回数別搬送状況

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

転送回数	0					1				
事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	計	急病	交通	一般負傷	その他	計
搬送人員	1,587	279	298	409	2,573	16	1	2		19

転送回数	2以上					合　計				
事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	計	急病	交通	一般負傷	その他	計
搬送人員						1,603	280	300	409	2,592

69. 救急月別・事故別出場件数及び搬送人員

１．救急月別・事故別出場件数　（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件）

月別／事故種別	計	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
計	2,877	245	203	220	255	263	213	259	247	228	256	224	264
火　　災	8	3			1	2			1			1	
自然災害													
水　　難	2					1		1					
交　　通	300	24	15	24	26	24	27	34	28	25	25	24	24
労働災害	22	1	3	3	1	1	2	2		1	4	2	2
運動競技	14	1		1		1		2	3	1	3	2	
一般負傷	336	31	22	26	36	20	22	42	21	21	37	27	31
加　　害	11	1	1	1	2	2	1	2		1			
自損行為	47	4	4	3	5	3	5	2	3	5	6	5	2
急　　病	1,800	147	136	139	160	175	130	147	162	143	151	138	172
そ の 他	337	33	22	23	24	34	26	27	29	31	30	25	33

２．救急月別・事故別搬送人員

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

月別 / 事故種別	計	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
計	2,592	212	184	198	224	236	198	233	228	208	227	204	240
火　　災	1	1											
自然災害													
水　　難	1					1							
交　　通	280	21	11	22	22	20	27	33	26	24	26	29	19
労働災害	22	1	3	3	1	1	2	2		1	4	2	2
運動競技	14	1		1		1		2	3	1	3	2	
一般負傷	300	25	22	23	33	19	21	37	20	16	33	24	27
加　　害	7	1	1	1	1	2		1					
自損行為	29	2	3	2	4	3	4		2	3	2	3	1
急　　病	1,603	127	122	124	138	155	118	132	148	132	129	120	158
そ の 他	335	33	22	22	25	34	26	26	29	31	30	24	33

70. 地区別救急出場件数

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件）

地区別 / 事故種別	計	増田	増田西	閖上	下増田	名取が丘	館腰	愛島	愛島台	高舘	ゆりが丘	那智が丘	相互台	みどり台	仙台空港	自動車専用道路	管外	その他
合　計	2,877	820	536	75	209	119	301	231	34	256	85	69	70	51	20	1		
火　災	8	3	1	1	1		1			1								
自然災																		
水　難	2			2														
交　通	300	79	50	6	16		59	25		51	7	5	1			1		
労　災	22	3	3	2	1		7	2	1	1	1				1			
運　動	14	4	4				1	1		3				1				
一　般	336	86	54	8	26	23	33	30	6	28	15	9	10	7	1			
加　害	11	4	3			1	1			1			1					
自　損	47	12	6	2	2	5	7	3	2	4		2	1	1				
急　病	1,800	473	332	54	139	89	188	128	25	161	62	53	57	22	17			
その他	337	156	83		24	1	4	42		6				20	1			

71. 事故別救急出場件数及び搬送人員

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

区分	年別	合計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
出場件数（単位：件）	25 年	2,740	3		1	298	36	16	324	11	28	1,709	314
	26 年	2,877	8		2	300	22	14	336	11	47	1,800	337
搬送人員（単位：人）	25 年	2,562	1			329	34	15	296	9	14	1,551	313
	26 年	2,592	1		1	280	22	14	300	7	29	1,603	335

72. 事故別傷病程度状況(医療機関搬送分のみ)

(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人)

傷病程度 / 事故種別	合　計	死　亡	重　症	中等症	軽　症	その他
計	2,592	20	234	1,350	988	
火　　災	1		1			
自 然 災 害						
水　　難	1		1			
交　　通	280		8	75	197	
労 働 災 害	22			11	11	
運 動 競 技	14			5	9	
一 般 負 傷	300		13	129	158	
加　　害	7		1	1	5	
自 損 行 為	29	2	3	16	8	
急　　病	1,603	18	156	868	561	
そ　の　他	335		51	245	39	

73. 事故別・曜日別救急出場件数

(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件)

曜日別 / 事故種別	合　計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	2,877	369	431	422	432	398	407	418
火　　災	8	2		2			2	2
自 然 災 害								
水　　難	2		1					1
交　　通	300	30	50	50	49	44	37	40
労 働 災 害	22	1	6	4	3	2	4	2
運 動 競 技	14	1	1		2	4	1	5
一 般 負 傷	336	44	48	60	41	36	48	59
加　　害	11	2	1	2		1	1	4
自 損 行 為	47	5	7	4	6	9	5	11
急　　病	1,800	263	253	258	285	243	249	249
そ　の　他	337	21	64	42	46	59	60	45

74. 事故別・年齢別救急搬送人員状況

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

事故種別 / 年齢区分		合計	男女別計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合　計	男	2,592	1,355	1		1	178	17	13	139	4	9	808	185
	女		1,237				102	5	1	161	3	20	795	150
0～9	男	209	118				5			33			68	12
	女		91				2			18			55	16
10～19	男	134	87				30	1	12	15	1	1	23	4
	女		47				8		1	7		1	29	1
20～29	男	176	85	1			32	5		5		3	31	8
	女		91				20	4		5		7	46	9
30～39	男	166	84				21	4	1	3		1	42	12
	女		82				10			2	1	3	55	11
40～49	男	252	148				26	3		16	2	2	85	14
	女		104				16			8	1	5	65	9
50～59	男	223	127			1	27	2		6		1	71	19
	女		96				9	1		8		4	65	9
60～69	男	323	190				19	2		15			126	28
	女		133				17			18			80	18
70～79	男	453	238				13			21	1	1	161	41
	女		215				13			32			147	23
80以上	男	656	278				5			25			201	47
	女		378				7			63	1		253	54

75. 時間別救急出場件数

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件）

時間別 / 事故種別	計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
計	2,877	114	103	108	190	370	324	319	286	323	328	247	165
火　災	8		1	1		1	1			2	1	1	
自然災害													
水　難	2					1	1						
交　通	300	6	3	6	23	44	34	26	34	35	52	25	12
労働災害	22					6	5	3	2	3	2	1	
運動競技	14					3		4	3	2	2		
一般負傷	336	23	5	8	19	38	33	36	30	43	50	34	17
加　害	11	1	2		1			1			1	2	3
自損行為	47	1	4	2	2	3	4	12	2	4	3	4	6
急　病	1,800	82	87	89	139	231	155	179	174	171	199	174	120
そ の 他	337	1	1	2	6	43	91	58	41	63	18	6	7

76. 市町村別傷病者搬送先状況

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

搬送人員合計	名取市内 搬送人員	仙台市内 搬送人員	岩沼市内 搬送人員	その他の地区 搬 送 人 員	県　外 搬送人員	防災ヘリ 引 継 ぎ
2,592	251	1,596	712	33		

77. 発生場所別搬送人員

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：人）

発生場所 / 区分	計	住　宅	公衆出入場	仕 事 場	道　路	そ の 他
計	2,592	1,423	779	69	305	16
急　病	1,603	1,192	334	42	28	7
交　通	280	4	16	1	258	1
一 般 負 傷	300	188	83	8	15	6
そ の 他	409	39	346	18	4	2

78. 不搬送別状況

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位:件）

事故種別 / 種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	315	7		1	46		1	38	4	18	197	3
緊急性なし	84	1			12			12	1		57	1
傷病者なし	19	3		1	6		1	1	1		5	1
拒否	46				13			7	1	2	23	
酩酊	7				1			2			4	
死亡	39				1			1		13	24	
現場処置	88				11			13	1	1	61	1
誤報	10	3			1			1		1	4	
その他	22				1			1		1	19	

79. 病院収容所要時間別搬送人員

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位:人）

時間 / 事故種別	救急出場から医療機関に収容するまでに要した時間別搬送人員						
	計	10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上
計	2,592		14	269	1,788	507	14
急病	1,603		4	125	1,136	330	8
交通	280		3	22	180	75	
一般負傷	300			16	204	75	5
その他	409		7	106	268	27	1

80. 救急隊員の行った応急処置（特定行為等）

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件）

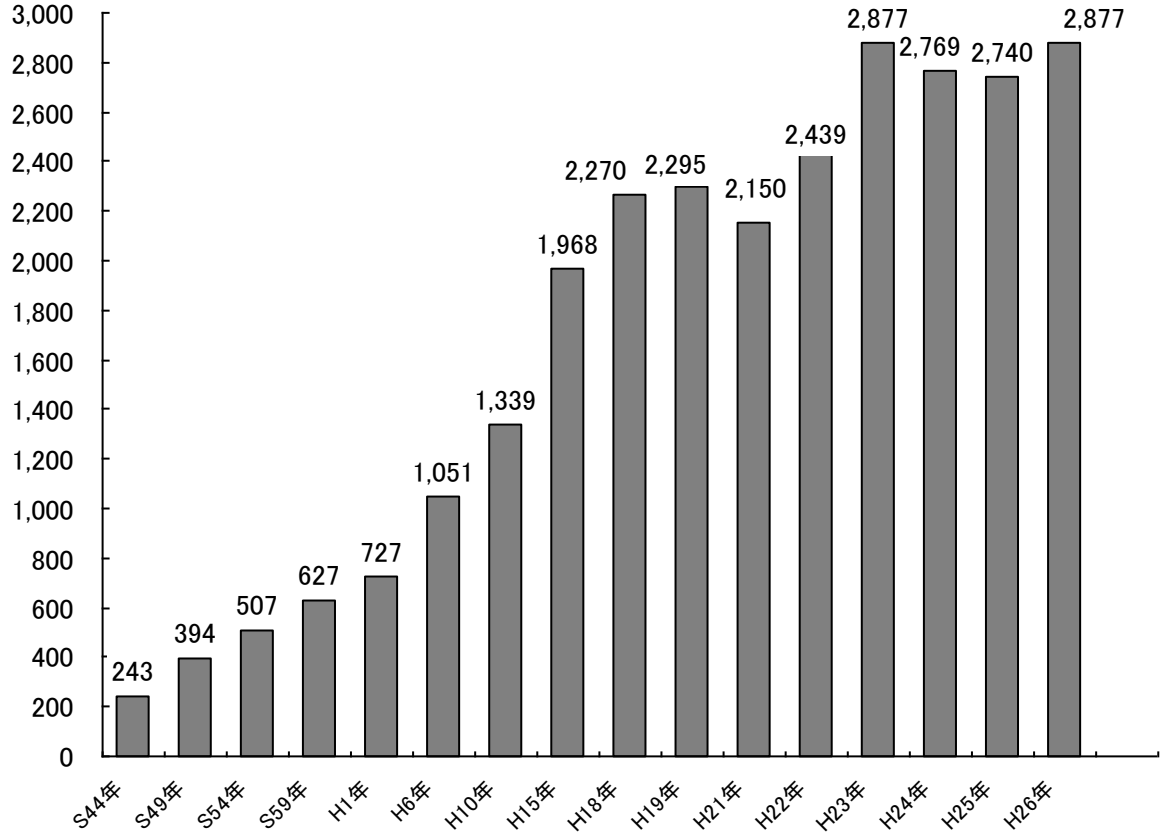
事故種別 / 応急処置		合 計	急 病	交 通	一般負傷	その他
応急処置した人員		2,581	1,601	279	297	404
処置件数合計		8,528	5,440	864	891	1,333
応急処置の内容	止血	96	16	30	40	10
	固定	153	7	94	38	14
	人工呼吸	5	3			2
	心臓マッサージ					
	心肺蘇生	45	36		3	6
	うち自動	2				2
	酸素吸入	469	329	14	13	113
	気道確保（救急救命士の特定行為以外）	41	32		3	6
	保温	72	48	4	7	13
	被覆	165	8	68	75	14
	在宅療法継続	16	12		1	3
	その他応急処置	1,381	976	64	120	221
	血圧測定	2,402	1,487	273	258	384
	聴診器聴取	336	264	25	18	29
	SPO_2測定	2,522	1,562	277	285	398
	心電図	797	637	15	25	120
救急救命士の特定行為	うち特定行為を行った人員	16	13		3	
	うち特定行為処置件数	28	23		5	
	気道確保 ラリンゲアルマスク					
	気道確保 ラリンゲアルチューブ					
	気道確保 i-gel	7	7			
	気道確保 挿管チューブ	1			1	
	静脈路確保輸液	10	8		2	
	薬剤投与	5	3		2	
	除細動	5	5			

81. 救急隊別出場件数

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日　単位：件）

救急１号車	救急２・３号車	高舘救急１号車	その他の車両
１，４９０	８４１	５４５	１

82. 救急業務発足以来の救急出場推移



83. 応急手当普及啓発活動状況

（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

講習会種別	開催回数	受講人数	内容
	累計	累計	
応急手当講習会	39	1,445	救急車や医師が到着するまでに実施する応急手当の方法(3 時間未満)
普通救命講習会	61	1,109	心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い要領、大出血時の止血法(3 時間)
	839	16,083	
上級救命講習会	1	5	心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い要領、大出血時の止血法、傷病者管理、外傷の手当搬送法等(8 時間)
	26	294	
応急手当普及員講習会			事業所の従業員や、各種団体の関係者に対して普通救命講習の指導者になる為の講習(24 時間)
	4	22	

84. 月別救助出動状況及び救助人員

（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

区分／月別	事故種別出動件数										事故種別救助人員									
	合計（件数）	火災	交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計（人）	火災	交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故	爆発事故	その他の事故
合計	30	9	12	2						7	12	1	6	2						3
1月	6	3	3								4	1	3							
2月	1		1																	
3月																				
4月	3	1								2	2									2
5月	6	2	2	1						1	2		1	1						
6月	1		1								1		1							
7月	3			1						2	2			1						1
8月	6	1	4							1	1		1							
9月	1		1																	
10月	1	1																		
11月	1									1										
12月	1	1																		

85. 救助完了時間別状況

（平成26年1月1日～平成26年12月31日　単位：件）

事故種別	覚知から救出完了までに要した時間							救助を要しなかったもの
	合計	10分未満	～20分	～30分	～60分	～120分	120分以上	
合　　計	30		7	3		2		18
火　　災	9		1					8
交通事故	12		4	2				6
水難事故	2			1		1		
機　　械								
建　　物								
その他の事故	7		2			1		4

86. 救助業務過去10年間の救助出動推移

種別／年	救助人員（人）	出動件数（件）	出動件数の内訳								
			火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	爆発	その他
平成１７	17	28		19	5		3				1
平成１８	14	34	2	21	6			2			3
平成１９	25	32		19	4		4	2			3
平成２０	26	33	1	18	5			1	2		6
平成２１	26	32	1	18	6			3	3		1
平成２２	13	15	2	6	2		1	1			3
平成２３	327	46	3	9	3	22	1	2	1		5
平成２４	17	29		18	3		2	1	1		4
平成２５	15	33		15	1		2	2	3		10
平成２６	12	30	9	12	2						7

Ⅸ　消防協力団体

かじだー！

火の用心 7つのポイント
寝たばこや
たばこの投げ捨て
と
ない
子供はマッチ
ライターで
遊ばせない
の強い時は
たき火を
しない
天ぷらを
揚げるときは
その場を
離れない
家のまわりに
燃えやすいものを
置かない
ストーブには
燃えやすいもの
近づけない

87. 消防協力団体の概要

市内には、自分達の地域・職場は自分で守るという理念のもとに防火協力会・名取市防災安全協会・婦人防火クラブ及び幼少年消防クラブ等数多くの消防協力団体があり、それぞれ活発な活動を行っている。

名取市防火協力会連合会は、昭和 36 年以降市内各地区に全戸加入で結成された。その各地区防火協力会をもって昭和 46 年に連合会組織を設立し、年間を通し自主的な防火活動を行うとともに、地域防災の要である消防団への協力及び婦人防火クラブの育成等、地域ぐるみの防火体制の協力に努めているところである。又、宮城県沖地震発生の切迫が叫ばれていることから、防火協力会・婦人防火クラブにあっては、地域の地震被害の軽減を図るため、地震災害に備える自主防災の普及啓発に取り組んでいる。

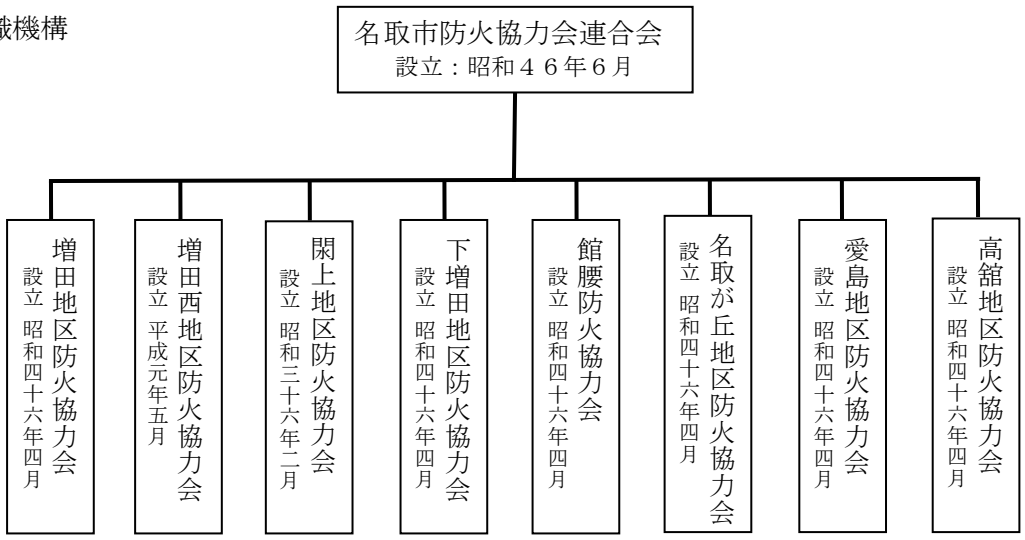
名取市防災安全協会は、名取市危険物安全協会と名取防火管理者協議会が統合し平成 26 年 5 月に設立され、市内において防火管理者を有する事業所及び危険物施設を所有する事業所、さらに本会の目的達成に賛同するものをもって組織され、現在は 135 事業所が加入している。今後は会員事業所間の協力関係をより密なものとし、本来の目的である危険物災害の予防と防火管理の徹底のさらなる普及啓発に努め、災害発生の防止に努める。さらに、会員ガソリンスタンドは大規模災害が発生した場合、災害活動に対し協力支援することを目的に平成 16 年 6 月 29 日、名取市と覚書を締結したもので、今後の大規模災害対応に大きく貢献するものと思われる。

名取市婦人防火クラブ連絡協議会は、地域ぐるみの自主防災組織である 68 の単位クラブと 8 地区の連絡協議会で構成されている。本会の事業は、各家庭の防火はもとより地域ぐるみの防火の輪を広げ、毎年防火推進大会を開催し、火災予防を呼びかけるとともに、初期消火訓練及び炊き出し訓練等を実施し、防災支援活動において、積極的に活躍している。

幼少年消防クラブは、幼稚園 7 クラブ・保育所 7 クラブで結成されており、子供の火遊びによる出火防止を重点に防火思想の普及啓発に努めている。

88. 名取市防火協力会連合会

１．組織機構



２．会員数　名取市全世帯

３．目　的

この会は、名取市消防本部の指導の下に、市内地区防火協力会相互の連絡協調を図り、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、火災予防に関する調査研究を行うことにより社会公共の福祉の増進と明るい地域社会の建設に寄与することを目的とする。

４．事　業

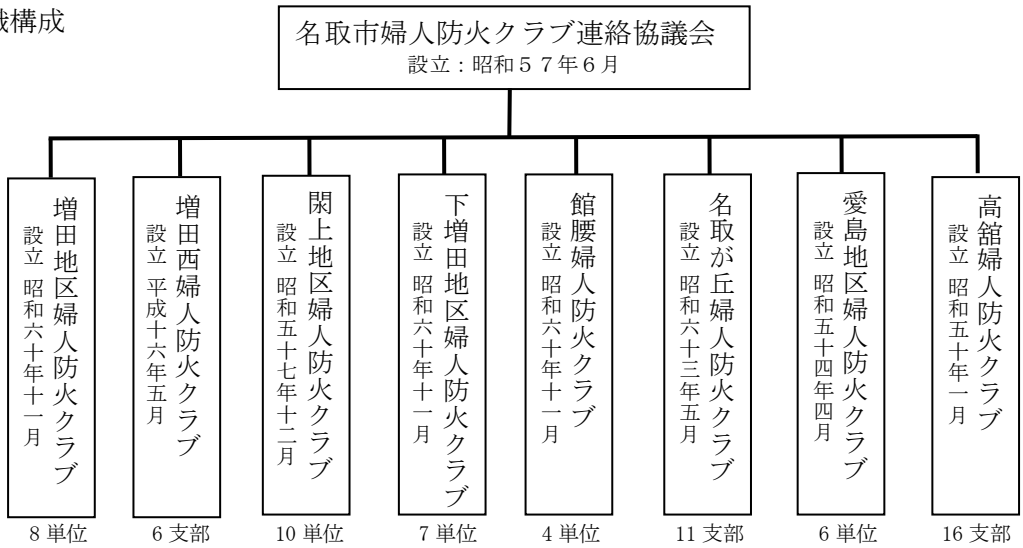
(1)　会員相互並びに関係機関、団体との連絡協調
(2)　予防消防に関する調査と研究
(3)　火災予防思想の啓蒙と周知徹底
(4)　消防活動に関する協力援助
(5)　その他連合会の目的達成に必要な事項

89. 外郭団体

名 取 市 防 災 安 全 協 会	
設立　平成２６年５月	会員数　１３５事業所
目　的：　本会は、会員相互の親睦と融和を図り、防火管理の徹底と危険物取扱の適正に努め、災害の発生を未然に防止し、もって会員の事業発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。	
事　　業 ・危険物取扱者試験準備講習会の開催 ・普通救命講習会の開催 ・防災訓練の実施 ・研修視察の実施 ・会員親睦会の開催 ・機関紙「会報」の発行 防火啓発事業 ・秋・春の火災予防運動への協賛 ・防火ポスター、標語審査会 ・婦人防火推進大会への協賛	

90. 名取市婦人防火クラブ連絡協議会

１．組織構成



２．会員数　１２，５９７名（名取市婦人防火クラブ連絡協議会）

３．目　的

この会は、名取市消防本部管内単位婦人防火クラブ及び各地区連絡協議会等の相互の連絡協調を図るとともに、予防消防に関する調査研究を行い、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、防火意識の向上発展に寄与することを目的とする。

４．事　業

(1)　会員相互並びに関係機関、団体との連絡協調
(2)　火災予防思想の啓蒙と周知徹底
(3)　火災予防についての調査及び研修
(4)　その他の目的達成に必要な事項

91. 幼年消防クラブ

（クラブ員９９５名）

クラブ名	設立
高舘幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 12 月
愛島幼稚園幼年消防クラブ	昭和 62 年 1 月
本郷幼稚園幼年消防クラブ	昭和 62 年 1 月
下増田幼稚園幼年消防クラブ	昭和 62 年 1 月
なとり幼稚園幼年消防クラブ	平成 22 年 5 月
なとり第二幼稚園幼年消防クラブ	平成 22 年 5 月
美田園わかば幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 11 月
名取が丘保育所幼年消防クラブ	平成元年 1 月
手倉田保育所幼年消防クラブ	平成元年 1 月
増田保育所幼年消防クラブ	平成元年 1 月
名取みたぞの保育所幼年消防クラブ	平成 24 年 10 月
ゆりが丘保育所幼年消防クラブ	平成 6 年 4 月
高舘保育所幼年消防クラブ	平成 13 年 4 月
あけぼの保育所幼年消防クラブ	平成 26 年 4 月

平 成 ２ ７ 年 版 消 防 概 要

平成２７年８月１１日発行

編集発行　　名 取 市 消 防 本 部
〒981-1224
宮城県名取市増田五丁目１８番３２号

電　話　（０２２）３８２－０２４２
ＦＡＸ　（０２２）３８３－８７１１
E-MAIL　natori-fd@aioros.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.fdn119.jp

間紙イラスト 企画・制作 全国消防長会広報防災委員会
全国消防イメージキャラクター「消太」